

# 地方史情報 161

2023年5月

## 地方史研究雑誌目次速報 飯澤文夫 編

\*本誌に掲載した雑誌に関するお問い合わせは、発行元に直接お願いします。

北海道	1	富山県	35	兵庫県	65
宮城県	2	石川県	36	奈良県	70
秋田県	3	福井県	37	鳥取県	72
山形県	4	山梨県	38	岡山県	72
福島県	4	長野県	38	広島県	74
茨城県	7	岐阜県	45	徳島県	75
栃木県	8	静岡県	46	愛媛県	75
群馬県	8	愛知県	47	福岡県	76
千葉県	10	三重県	52	佐賀県	77
東京都	13	滋賀県	54	沖縄県	77
神奈川県	29	京都府	55	寄贈図書	78
新潟県	32	大阪府	59		

### 北海道

#### ◆アイヌ語地名研究

アイヌ語地名研究会(発売:北海道出版企画センター)

〒001-0017札幌市北区北十七条西1丁目1-1 コーポ望 FAX011-728-6400

年5000円 1998年創刊

◇25 2022.12 B5 186p 1700円

日高のタブコブ

「道南地域のタブコブ tapkop を巡る」に関する補遺

由仁町のタブコブの場所

おかしな解釈をされた地名

戊午第五巻東部登加智留宇知之誌 十勝日誌

釧路市細岡のタブコブ

中野 良宣

中野 良宣

山下 栄光

山下 栄光

山下 栄光

渡辺 隆

江戸期における北海道以北の地図を読む(2)

大竹進／葛野大喜／花輪陽平／藤村久和

書評 『増訂改訂版 札幌の地名がわかる本』

秋山 秀敏

資料紹介

アイヌ語地名研究会の行事と活動

第25回アイヌ語地名研究大会

報告・高橋和男

「ユ=温泉」説の起源とその拡散の道筋

—秦檜丸と上原熊次郎を糸口にして

中野 克良

樺太のアイヌ語地名とそれにまつわる伝承

阪口 諒

樺太アイヌの有用植物

植木貴美子

アイヌ文化を読む会（毎月第一火曜日）

佐賀 彩美

アイヌ語地名を調べる会（毎月第三火曜日）

土井 勝典

藤村先生との「古文書部会」（毎月2回、第二・第四火曜日）

2022年までの経過報告

澤田 敏明

#### ◆北方民族博物館だより 北海道立北方民族博物館

〒093-0042網走市潮見309-1 TEL0152-45-3888 1991年創刊

<https://hoppohm.org>

◇128 2023.3 A4 6p

企画展 川と魚と北方民族 協力：標津サーモン科学館

中田 篤

企画展関連講座 映画『オビ川の秋』から知るハンティの暮らし」

講師：大石侑香氏

中田 篤

調査報告 アラスカ先住民の生業活動と威信に関する予備調査

調査者：野口泰弥

野口 泰弥

ロビー展 「オホーツクシリーズ⑩ 北の状景から」

中田 篤

講習会 初めて歩くスキーツアー

会場：道立オホーツク公園研修室、公園内歩くスキーコース

講師：中田篤、藤本幹人氏、中川一弘氏、藤本珠里氏

中田 篤

展覧会 北の縄文展 2022 in 釧路・網走

主催：北海道・北海道教育委員会

村本 周三

新収蔵資料 2022年度新収蔵資料

中田 篤

## 宮 城 県

#### ◆震災文庫だより 宮城県図書館

〒981-3205仙台市泉区紫山1-1-1 TEL022-377-8498 2020年創刊

<https://www.library.pref.miyagi.jp>

◇6 2023.3 A4 2p

東日本大震災文庫編 チラシ等を検索できるように作業を進めています／情報交換も重要です／東日本大震災文庫展を開催中

東日本大震災デジタルアーカイブ編 仙台防災未来フォーラムに参加しました／コンテンツの利活用事例を公開しています／パネル展を開催中

◆史の杜 上廣歴史資料科学研究部門ニューズレター

東北大学東北アジア研究センター

〒980-8576仙台市青葉区川内41 Tel.022-795-3140 2013年創刊

<https://uehiro-tohoku.net>

◇12 2023.3 A4 8p

古文書のひろば

- |  |       |
|--|-------|
| (1) 新たに確認された伊達邦直の日記                        | 倉田 守  |
| (2) 明治時代の感染症への備え                           | 竹原 万雄 |
| (3) 自治体職員からみた赤子養育仕法—白石の農村から                | 岸野 太一 |
| 地域との歩みのなかで 仙台藩宿老後藤家文書研究会                   | 野本 禎司 |
| 広げよう、古文書の輪 必要性から可能性へ—古文書により展開しつつある「ディープ日本」 | 賈 光佐  |

## 秋 田 県

◆秋田歴研協会誌 秋田県歴史研究者・研究団体協議会

〒010-0811秋田市泉釜ノ町16-5 渡辺方 1996年創刊

<http://akita-nct.ac.jp/~wakino/rekiken.html>

◇79 2023.3 B5 22p

表紙 秋田城跡歴史資料館秋田市寺内)

特集 秋の歴史フォーラム 古代の秋田

秋田城「四天王寺」の墨画は何を語るか

—水洗トイレの使用者は誰なのか

船木 義勝

秋田を襲った天長7年の地震について

池田 憲和

用語解説 地券(ちけん)

半田 和彦

文献情報 加入団体会誌、その他の会誌、著作等／催しもの情報

## 山形県

### ◆伝国の杜だより 米沢市上杉博物館置賜文化ホール

〒992-0052米沢市丸の内1-2-1 米沢上杉文化振興財団 TEL0238-26-8000

<https://www.denkoku-no-mori.yonezawa.yamagata.jp>

### ◇43 2023.3 A4 8p

博物館からのお知らせ 没後四〇〇年記念 特別展「上杉景勝と関ヶ

原合戦」／企画展「今泉篤男と美術」／特別展「上杉氏と国絵図の世

界(仮)」／常設展示室 上杉文華館／モールの展示作品

収蔵品 学芸ノートから 上杉景勝朱印状(2021年度新収蔵品)

国宝「上杉本洛中洛外図屏風」室町時代 狩野永徳筆 鳥刺(左隻5扇)

### ◆山形県地域史研究 山形県地域史研究協議会

〒991-8501寒河江市大字西根字石川西355 村山総合支庁西村山地域振興局

山形県総務部学事文書課分室 県史資料室内 TEL0237-83-1215 年2000円

### ◇47 2023.2 A5 114p 1000円

庄内四〇〇年の焼畑史からみえてくる地域性のパッチワーク

渡辺 理絵

庄内と鮭延越前守

早川 和見

戦国期庄内における村落間相論

菅原 義勝

庄内川南地域北部の城館遺跡と文献資料について

須藤 英之

大督寺文書にみる老中酒井忠寄

本間 勝喜

北前船と酒田商人

小野寺雅昭

江戸市中取締における大砲組(新整組)

今野 章

ワッパ騒動義民顕彰会のあゆみと研究課題

升川 繁敏

元北海道開拓使大判官松本十郎と庄内

三原 容子

金峯神社所蔵文書調査から

保科 文俊

長井郷土刀の世界

角屋由美子

庄内藩酒井家の名刀

大沼 賀世

第四十七回総会・研究大会の概要／講座「刀剣の世界」の概要

横山昭男先生を偲ぶ

伊藤 清郎

梅津保一先生を偲ぶ

山内 励

## 福島県

### ◆ふおーらむ・F 福島県民俗学会

〒965-0807会津若松市城東町1-25 福島県立博物館内 2011年創刊

<http://fukushimafolklore.jimdo.com>

◇15 2022.8 A4 4p

令和4年度総会報告

内山 大介

令和4年度大会フォーラム報告

フォーラム「福島県民俗学会と福島県の民俗研究50年」

齋藤りほん

福島県内の文化財の動き 福島の猫に関わる神社と祠

石黒伸一郎

コラム 現代によみがえる南郷刺し子の文化

内山 大介

noteから 竹島善一氏の撮った昭和40年～50年代の奥会津

川合 正裕

◇16 2023.2 A4 4p

第38回東北地方民俗学合同研究会 山形大会

(岩崎)

持ち回り研究会 in 棚倉町

(岩崎)

noteから ひねり餅

ひろば ただみ・モノとくらしのミュージアムの開館

原永 円香

古い写真から ホトケボ

岩崎 真幸

◆フークトープ通信 フークトープ通信社

〒960-8021福島市霞町9-38 シュタースティエ102室 山田英明方

2015年創刊

◇54 2023.3 A4 2p

「民権一五〇年」に向けて

山田 英明

フークトープ紀行(54) 十六橋水門(会津若松市・猪苗代町)

赤井 武史

◆福島県史料情報 福島県文化振興事業団

〒960-8018福島市松木町13-16 Tel.024-534-9193 2002年創刊

<https://www.fcp.or.jp/history/>

◇65 2023.2 A4 4p

『物産景況書』に記された御種人參

渡邊 智裕

志駄義秀と分割された伊達郡東根郷

渡邊 智裕

近世の彗星出現記録と庶民の認識

小野孝太郎

大沼郡鳴丸村の三つ子誕生と養育支援

小野孝太郎

藩主の隠居意思に揺れる家臣の心

片村 峰雪

大沼郡桑原村と宮下村の入会争論の本当の結末

山田 英明

歴史資料館の一年

◆福島史学研究 福島県史学会

〒960-8251福島市北沢又字東谷地西3-5 年3000円 1951年創刊

◇101 2023.3 A5 140p

- 奥羽の観応擾乱と尊氏御内書一点 高橋 明  
白河結城氏家臣芳賀氏の軌跡 小豆畑 毅  
『会津旧事雑考』における「今」と「今日」  
—「天文五年六月廿八日条の検証」補遺 坂内 三彦  
米沢藩信達四ツ分高の平均免について 井戸川方志  
板碑の記念銘は「何の日」が刻まれているのか—会津の板碑について 柳内 壽彦  
書評 矢部洋三著『明治開拓村の歴史—福島県安積郡桑野村』 高橋 直道  
2022年度 福島県史学会研究報告会  
福島史学研究総目録(82号～100号)

◆福島の民俗 福島県民俗学会

〒965-0807会津若松市城東町1-25 福島県立博物館内 TEL0242-28-6000  
年4000円 1973年創刊 <http://fukushimafolklore.jimdo.com>

◇51 2023.3 A5 125p

第三七回東北地方民俗学合同研究会「衣の民俗」記録

- 趣旨説明 大山 孝正  
全体討論コメント1 衣の民俗の視座 山崎 祐子  
全体討論コメント2 衣の民俗研究の出発点 佐々木長生  
会津美里町における鳥追いの特色 後藤麻衣子  
福島県の猫入りお札 石黒伸一郎  
福島県中通りの板碑と民間信仰 柳内 壽彦  
万人子守地藏尊の伝承と呪術論 飯田 哲也  
二本松神社例大祭—日本三大提灯祭り考 喜古 康浩  
松岡町の町紋は江戸町火消し「も組」の纏が源流 相原 達郎  
相馬地方の農書『農事実録』について 佐々木長生  
調査報告・建築儀礼を描いた絵馬 小澤 弘道  
民俗短信  
安達太良神社秋季祭礼の縮小と再開 飯田 哲也  
飯舘村の作見の習俗 岩崎 真幸  
薩長政権下の日本 菅野 拓  
書評・書誌紹介  
『東北へのまなざし 一九三〇—一九四五』 佐々木長生  
内山大介・辻本侑生『山口弥一郎のみた東北』 大山 孝正  
下高久区(いわき市平下高久)編『まほろばの里高久の歩き方』 岩崎 真幸

◆文字摺通信 ふくしまの歴史と文化財

〒960-8204福島市岡部字東町35-6 守谷早苗

◇35 2023.3 A4 4p

蓬萊ニュータウン 今?昔!

えっ?!平城は北目村にあったのですか?

磐前郡神社明細帳(明治12年)・・

◇36 2023.3 A4 4p

知っていました? 信用金庫も JA も ユネスコ無形文化遺産

昭和23年8月 平市と内郷町

◇37 2023.4 A4 4p

中島村絵図で岡島の中島村・岡本村の境界が解明!?

三島神社拝殿からカラーコピーが出てきました!

はんこの話(1) (「漢委奴国王」金印)

《日本遺産》この不可思議な文化財

保存なき活用は文化財の喪失に繋がる

◇38 2023.4 A4 4p

明治28年古社寺調に掲載の黒沼神社(御山)木像(神像)の紹介

はんこの話(2) 朱印と黒印

ふくしまの蚕糸業・近代編(1) 日東紡績株式会社

茨城県

◆史境 歴史人類学会

〒305-8571つくば市天王台1-1-1 筑波大学人文社会系内

TEL029-853-4047/4403 1980年創刊

◇81 2021.11 B5 118p 4000円

鎌倉雲頂庵再興と長尾忠景・久甫淳長

小森 正明

清代嘉慶期の青海における社会問題への清朝の対応

一チベット人による家畜掠奪事件への再発防止策の議論

白川 絃惟

民国時期の汽船企業民生公司における社員教育の研究(1926-1938)

張 靖中

『パンチ』カリカルチュアから考察する日中戦争期の東アジア表象民

国時期の汽船企業民生公司における社員教育の研究(1926-1938)

古舘 陽子

横穴式石室の利用期間と追葬行為—静岡県域を中心に

荒井 啓汰

地方における教育の地域格差の背景と格差解消の学校教育の取り組み

—1960~2018年の新潟県十日町市松代地域の進路選択を事例に

渡部 鮎美

書 評

胡桃沢勘司著『押送船—江戸時代の小型快速船』	山澤 学
津波高志著『沖縄の空手—その基本形の時代』	武井 基晃
松岡薫著『俄を演じる人々—娯楽と即興の民俗芸能』	館野 太郎

◆長塚節の文学 長塚節研究会

〒300-2707常総市本石下4639 TEL0297-42-2003 年3000円 1994年創刊

◇28 2023.4 A5 40p 1000円

飯田新右エ門、寺田憲の生家を訪ねて

一後世に伝えたい飯田家の真実・届けたい言の葉	星野 明
茅葺き屋根の生家(3)	黒田 次郎
長塚節の『万葉集』研究に学ぶ「万葉集巻の十四」の考察	桐原 光明
研究論文 長塚節の動物・家畜短歌と人の脳に与える影響	岩渕 憲弥
十日間を読む(長塚節遺稿より)	鳥井 憲一
「しょあんめい・節さん」—その行動からみた人間像と環境	霜 礼次郎
長塚節『鍼の如く』について考える	飯島 雅行
二〇二二年度つくば市における「長塚節講座」開催報告と歌碑拓本について	松崎 若美
長塚節の遺墨について	河合 宏

栃 木 県

◆鹿沼史林 鹿沼史談会

〒322-0054鹿沼市下横町1302-5 まちなか交流プラザ 年3000円 1954年創刊

<http://tochigi-vnpo.net>

◇62 2023.3 B5 53p

鹿沼城再考(2)	杉浦 昭博
日光県の開墾仕法と久保田讓之助	堀野 周平
源藏日記・幕末から明治まで	駒場 一男
昭和(戦後)を語る会記録 第4回 「さつき」と「鹿沼土」物語	
語り手 豊田勝義・小林隆司・宇賀神文男	
／聞き手 黒川榮三／記録 福田純一	

群 馬 県

◆群馬地名だより 群馬地名研究会

〒379-2144前橋市下川町6-16 井野修二方 TEL027-265-3859 1989年創刊

◇102 2022.12 B5 4p

松井田町土塩の「鶴越」

～碓氷関所の裏抜けの監視地点という視点を中心として 須田 茂  
付図 碓氷関所の要害(北辺要害)の概要

◆群馬文化 群馬県地域文化研究協議会

〒372-0831伊勢崎市山王町38-38 前澤和之方 年4000円 1957年創刊

<https://gunmabunka.org/wp/>

◇347 2022.12 A5 80p

特集 群馬県における地方史研究の動向(10)

総説	丑木 幸男
考古	小原俊行／鈴木佑太郎／関根史比古／飯田浩光
古代	飯塚 聡
中世	長谷川明則／近藤聖弥
近世	藤井茂樹／関口荘右
近代・現代	丑木幸男／福田博美
民俗	永島政彦／鈴木英恵／横田雅博／武藤直美
地理	町田 悟

新刊紹介

藤生一政著『強戸村の兵事史料』	宮崎 俊弥
飯森康弘著『戦国期上野の城・紛争と地域変容』	久保田順一
口絵『綿貫観音山古墳出土の金銅花卉形鈴付雲珠・辻金具』	
一群馬県立歴史博物館蔵品資料(148)	飯田 浩光

◆群馬歴史民俗 群馬歴史民俗研究会

〒372-0033伊勢崎市本町5226-12 永島政彦方 TEL0270-32-9070 1980年創刊

◇44 2023.3 A5 114p

「沼田城代記」の史料学研究—骨肉の争いの連鎖	丑木 幸男
維新时期農民騒動指導者と村落共同体—高崎五万石騒動を事例として	和田 健一
墓の移転による墓地観および死者との距離感の変化とふるさと	
—ハッ場ダム水没地域・川原湯を事例として	渡邊 直登
世良田銀行の創設	井野 修二
邑楽館林での「シベ」地形調査と考察	大塚 恒平
書評	
板橋春夫著『産屋の民俗』—伝統的な産育文化と近代医療を結ぶ	鈴木 英恵
築瀬大輔著『小田原北条氏と越後上杉氏』	森田 真一

◆武尊通信 群馬歴史民俗研究会

〒372-0033伊勢崎市本町5226-12 永島政彦方 TEL0270-32-9070 1979年創刊

◇173 2023.3 B5 4p

コロナ禍における沼須人形芝居

鈴木 英恵

沈鐘伝説と災害の記憶

亀井 好恵

第122回例会記事 沼賀健一郎氏「伝説・俗信にみる館林市城沼周辺の地勢について」(沼賀)、内山侑子氏「『赤城根元記』の特徴と性質—『赤城山縁起』諸本研究の進展として—」(内山)

千葉県

◆我孫子市史研究センター会報

〒270-1152我孫子市寿1-3-12 荒井方 TEL04-7182-2838

<http://abikosisiken.main.jp>

◇249 (通556) 2023.3 A4 12p

星野市長に郷土資料センター開設を要望

郷土資料センター推進会(文責・東日出夫)

岩崎孝次会員の訃報

岡本和男・記

書き貯めた「大正・昭和前期の我孫子周辺の教育実践」

藤掛 省吾

歴史部会 1月の活動報告

テーマ「芥川ら布施・布佐の紀行絵巻を残す」

越岡 禮子

「我孫子市史を読む会」2月活動報告

『千葉県の歴史 下総国 近世編』

山崎 章藏

古文書解読日曜部会 2月の活動報告

「牛久騒動女化日記 全」(故高島眞一氏所蔵文書)

山本 包介

井上家文書研究会 2月の活動報告

No.976 表紙欠(御用留・寛政3亥正月～8辰年正月)

岡本 和男

古代史研究グループ 2月度活動報告

「中世荘園制の理解をめぐる」

金古 尚

◇250 (通557) 2023.4 A4 18p

流山～馬橋探訪記 歴史探訪部会3月の活動

長谷川秀也

歴史講演会に参加して

「最近の発掘調査から見た古代の我孫子」手塚秀吾さん

星野 征朗

松戸市立博物館長 渡辺尚志先生を訪問しました

文責・清水千賀子

歴史部会2月の活動報告 新田次郎が我孫子で過ごした四年間

村上智雅子

古文書火曜部会 2月度活動報告 享保の渡来象関連資料

近松 義昭

「我孫子市史を読む会」3月活動報告 『千葉県の歴史 下総国 近世  
編』第6編 さまざまな生業、第7編 民衆の暮らしと生活文化 萩原 正美  
古代史研究グループ 3月度活動報告  
「中世荘園制の理解をめぐる」(2) 金古 尚  
井上家文書研究会 3月の活動報告 No.976 表紙欠(御用留・寛政3  
亥正月～8辰年正月) 49頁(寛政7年正月)～55頁巻末(同8年5月) 岡本 和男  
古文書解読日曜部会 3月の活動報告  
「牛久騒動女化日記 全」(故高島眞一氏所蔵文書) 近江 礼子

#### ◆神田外語大学日本研究所紀要

〒261-0014千葉市美浜区若葉1-4-1 TEL043-273-1389

◇15 2023.3 A5 308p

慶応期前半の中央政局と薩摩藩一幕薩・薩長融和と薩英戦争を中心に

町田 明広

The Portrants of Forgotten Meiji-Period Japanologist: Captain Francis

Brinkley (1841-1912)

Alexandra MUSTĂŢEA

フランシス・プリンクリーとボストン美術館日本陶磁コレクション 福永 愛

初代駐仏公使館鮫島尚信の右大臣岩倉具視宛書簡について(下) 松田 清

『日本広東学習新語書』及び『明治三十八 戸口調査用語(広東語)』

所収の符号仮名(5)

山村 敏江

『日本広東学習新語書』の人称代名詞複数形と訓読について

矢放 昭文

会話の中でみられる愚痴の継続と終え方

一聞き手の共感の仕方に着目して

釜田 友里江

New Religious Movements and Conservative Politics in Japan: An

Overview of Electoral and Non-Electoral Political Activities of

Happy Science and the Happiness Reslization Party

Jeffrey James HALL

日本の近代化を目にした西洋人知識人にとって「日本伝統文化」の意

味するもの—フランシスカ・プリンクリーの武士道と日本陶磁研究

ムスタツェア・アレンサンドラ／櫻庭美咲

神田外語大学国際日本文化研究センター 京都府立京都学・歴史館

共催企画展「明石博高一京都近代化の先駆者—」の開催

松田 清

日本研究所活動報告 Asian Philosophical Texts(4) 開催報告

ムスタツェア・アレクサンドラ

#### ◆利根川文化研究 利根川文化研究会

〒101-8301東京都千代田区神田駿河台1-1 明治大学史資料センター 阿部裕樹

気付 TEL03-3296-4329 1991年創刊 <https://www.7b.biglobe.ne.jp/~tonebun/>

◇46 2023.2 B5 64p

- 絵馬『布川河岸図』の「鮭大漁の背景」に関する考察 古田 吉光  
幕末期における行徳の下り塩取引と神奈川湊 菅野 洋介  
明治三十年代前期に実施された利根運河発着の修学旅行  
—野田市立福田第二小学校を事例として 新保 國弘  
会の川締切を巡る 阿部 裕樹  
巡検・見学会 流山市立博物館と江戸川水運で栄えた流山  
—本町を明治の迅速測図で歩く 村越 博茂  
古利根川締切を巡る巡検 川名 直子  
書評・新刊紹介  
池田宏樹著『大型開発と地方政治 沼田・堂本・森田三知事の千葉  
県政』 青木 敏雄  
築瀬大輔著『小田原北条氏と越後上杉氏』を読んで 原 淳二  
『利根川文化研究』会誌記事一覧 (41号～45号)

◆房総古代道研究 房総古代道研究会会誌

〒290-0073市原市国分寺台中央6-12-3 山本勝彦方 FAX0436-23-1098

2016年創刊

◇6 2023.4 A4 78p

- 前号特集 市原市の六十六部廻国供養塔  
市原市の六十六部廻国供養塔(追補) いちはら六十六部廻国供養塔調査の会  
くるり道「東往還」について 山本 勝彦  
望陀布と古代の織物—高品質の布と糸づくりの技術を追う 井口 崇  
旧市原郡今富村本陣名主千葉家の歴史  
—主に新発見の漢文資料を通じて 辻井 義輝  
古代の房総と東北一史・資料に見られる関連性 黒済 和彦  
コラム 古代の道を辿る追体験と前方後円墳の製作 角川 浩  
講演会記録  
国分寺以前に建立された「郡名寺院」について—上総の場合  
第56回房総古代道研究会セミナー 宮本 敬一  
道しるべでたどる古道—高倉道と久野原道の場合  
第57回房総古代道研究会セミナー 高崎 芳美

◆房総石造文化財研究会会報

〒275-0001習志野市東習志野5-30-4-404 木原律子方 TEL047-473-3540

年3000円 1980年創刊

◇145 2023.4 A4 6p

「会報」再開のご挨拶

会員ご逝去のお報せ 渋谷とめ子さん(川崎市) 二月、佐々木ひさ  
さん(あきる野市) 八月、沖本博さん(千葉市) 十二月

沖本前会長を偲んで 木原 律子

創立四十周年記念事業 『房総の石仏 新百選』進捗報告／令和四年  
度の活動をふりかえって

石仏見学会参加記 桜木霊園石仏見学会に参加して 林 毅

## 東京都

◆アーカイブ通信 ネットワーク・市民アーカイブ

〒189-0012東村山市萩山町2-6-10-1F TEL042-396-2430 年6000円

2014年創刊 <http://www.c-archive.jp>

◇27 2023.3 A4 8p

表現を「自分ごと」に聞くーアマチュアの自主出版物を展示すること

町村 悠香

市民アーカイブ多摩の四季(13) 春 コブシ

邑田 仁

ミニコミ紹介

『環音(わおん)』小平・環境の会

鳥 京子

『月刊 マルハバ』パレスチナの子どもの里親運動(認定NPO法人)

石河 穂紀

第8期緑蔭トーク報告 第4回 養沢(五日市)からのたよりー林業の  
現在とそらあけの会 池谷きわ子さん(そらあけの会)・岡田誠さ  
ん(そらあけの会/ネットワーク市民アーカイブ)

シリーズ“現場”を訪ねる(7)

法政大学大原社会問題研究所 環境アーカイブズ

記録・運営委員会

市民アーカイブ多摩の資料棚から(16) 学校教育

吉田 明

リレーエッセイ〈市民アーカイブ多摩のひと〉(3)

作って、歌って、資料整理

堀内 寛雄

◆足立史談 足立区教育委員会足立史談編集局

〒120-0001足立区大谷田5-20-1 足立区郷土博物館内 TEL03-3620-9393

◇660 2023.2 A4 4p

大久保家資料の紹介(1)

多田 文夫

あだち民具図典(18) 御櫃

荻原ちとせ

幕末期江戸雛飾りの最高峰 日比谷家伝来古今雛 東京国立博物館で  
展覧会

◇661 2023.3 A4 4p

葛西城攻略の論功行賞一牛込家と足立

日比谷孟俊

大久保家資料の紹介(2) 紙屋の地漉紙問屋株(1)

多田 文夫

お化け煙突60年(1) 発電停止

郷土博物館

◇662 2023.4 A4 4p

大久保家資料の紹介(3) 千住宿の地漉紙問屋と問屋株

多田 文夫

あだち民具図典(19) 胞衣の容器

間所 瑛史

足立史談会休会のご挨拶(令和5年3月31日より令和7年3月31日まで)

堀川 和夫

令和4年度の史談会活動報告について

堀川 和夫



\* 足立史談会は1968年に、地域の歴史や文化財について調査、研究、発表を行い、足立区の文化向上に寄与することを目的に結成され、今年に55年になる。活動の一環として別途発足させた「千住の鷗外碑保存会」が15年、「足立の学童疎開を語る会」が10年、「千住の芭蕉翁顕彰会」も6年になる。この間、機関誌『足立史談』を662号、活動の様子を伝える『足立史談会だより』を420号まで発行するなど、活発な活動を続けている。

1986年に足立区立郷土博物館が開設されてからは、館内に事務局を置いてきたが、同館が2025年3月まで大規模改修で休館し、会の資料なども使えなくなることから、博物館が開館するまでの2年間休会することになった。再開を待ちたい。

#### ◆足立史談会だより

〒120-0001足立区大谷田5-20-1 足立区郷土博物館内 TEL03-3620-9393

◇419 2023.2 A4 4p

足立史談会 三月探訪会の案内 花畑界限＝大鷲神社、花畑浅間神社・富士塚、文教大学(足立キャンパス)／地口行燈について 千住の吉田絵馬屋でも地口絵が描かれています。

民主主義を見直そう 戦後の新教育指針(文部省資料昭和21.5.1) (28)

第五章 民主主義徹底 編・堀川和夫

戦後の教科書民主主義 教科書「民主主義」上巻(国立教育政策研究所「教育図書館」近代教科書デジタルアーカイブより)

東松 充憲

故郷の俳人 西新井大師の「蕉雨の句碑」

「一輪の牡丹終日散りにけり」

記・唐沢邦子

蕉雨の句碑(「足立史談」第305号)

安藤 義雄

◇420 2023.3 A4 4p

伊興遺跡公園展示館の体験イベント 3年ぶり!伊興で古代にタイムスリップ!／勝専寺(赤門寺)の「閻魔開き」で「地口行燈」

民主主義を見直そう 戦後の新教育指針(文部省資料昭和21.5.1) (29)

第五章 民主主義徹底 編・堀川和夫

民主主義を見直そう 戦後の新教育指針(文部省資料昭和21.5.1) (30)

第六章 結論 編・堀川和夫

民主主義を見直そう 戦後の新教育指針(文部省資料昭和21.5.1) (31)

第六章 結論 編・堀川和夫

#### ◆あるむぜお 府中市郷土の森博物館

〒183-0026府中市南町6-32 Tel.042-368-7921 1987年創刊

<http://www.fuchu-cpf.or.jp/museum/>

◇143 2023.3 A4 8p

表紙 復元建物、郷土の森に建つ その8 旧三岡家長屋門

復元建物、郷土の森に建つ その8 旧三岡家長屋門

佐藤 智敬

最近の発掘調査 西府文化センターで縄文時代の石囲炉を発見

西府町1丁目

佐藤ななみ

NOTE 家康時代の大國魂神社本殿

深澤 靖幸

展示会案内 企画展 府中の旧家にあった書画たち

花木 知子

多摩川今昔 TAMAGAWA IMA MUKASHI(4)

アユは帰ってきたけれど…

中村 武史

太陽系惑星ツアー(8) 太陽系最果ての惑星 海王星

上野アイ子

#### ◆板橋史談 板橋史談会

〒173-0015板橋区栄町24-12-203 井上富夫方 FAX03-3579-3178

1966年創刊 <https://sites.google.com/view/itabashishidankai/home>

◇315 2023.2 B5 43p

表紙写真解説 梅の花咲く日曜寺境内（板橋区大和町四十二番二号）

写真と文・井上富夫

小絵馬と個人情報への保護

松崎 憲三

板橋区内の神社の石造物整備について

一四種類の石造物造立年代を中心に(2)

井上 富夫

城への誘い(6)

三原寿太郎

区政つれづれの記(11) まとめ編(2)

第1章 読み書きそろばん（昭和後期～平成）

松浦 勉

追悼 柳澤俊彦さん(元副会長)と板橋史談会

井上 富夫

追悼 柳澤俊彦さん(元副会長)を偲ぶ

大澤 鷹遼

#### ◆江戸城かわら版 江戸城天守を再建する会

〒101-0065千代田西神田2-5-7-505 TEL03-6423-1882 <https://npo-edojo.org>

◇66 2023.1 A4 12p

なぜ江戸城天守再建か 新たな動画、リーフレット、小冊子等をつく

って疑問に答える情報を発信開始

近藤 一郎

全国お城物語

宇和島城／肥前名護屋城／「江戸城サロン」講演会／咸宜園

さまざまなイベントに出展して請願署名活動を実施

私の提言 今後の新たな活動に向けて

尾崎 理恵

特別寄稿 夢のある天守再建運動に私も参加します

岩渕美智子

黒田涼の江戸・東京歴史講座 家康と江戸城が築いた現代東京(7)

大首都圏支える環状構造は江戸からの経緯

黒田 涼

「和の心」を紐解く(5) 「和の心」を身に付けるための作法(2)

土藏 利生

歴史に残る名城の天守(22) 名古屋城天守(2)

三浦 正幸

#### ◆奥武蔵 奥武蔵研究会

〒175-0092板橋区赤塚7-18-7 <http://okumusasi.travel.coocan.jp>

◇450 2023.3 B5 25p

表紙 羊山公園より武甲山を望む 撮影・清水卯平氏

《浦野要氏追悼号》

浦野さん、さびしいよ

秋澤 英雄

追悼 元顧問 浦野要氏

噫 浦野さん

加藤 恒彦

奥武蔵の生字引・浦野要さん	成川 茂雄
浦野さんと海外旅行での思い出	斎藤 慶広
ありがとうございました	入子 文子
追悼	宮下 玲子
浦野さん 有難うございました——一枚のハガキに結ばれた縁	町田 尚夫
浦野元会長を偲んで	吉田美知子
浦野元会長との思い出	村木 悦子
浦野要顧問を偲んで	小泉 重光
武甲山は昔、海だった	関口 洋介
奥武蔵・秩父地域に於ける山岳遭難〈2022年〉	町田 尚夫
山行報告	
児玉往還に行く(5)	西東 昭夫
関八州見晴台から梨本坂	小泉 重光
所沢七福神めぐり	斎藤 慶広
竹寺・子の権現初詣山行	村木 悦子
日向山～丸山	河野 尚久
児玉往還に行く(6)	西東 昭夫
名越切通しから衣張山へ	大川 満代

◆解放研究 東日本部落解放研究所紀要／明日を拓く 東日本部落解放研究所

〒111-0024台東区今戸2-8-5 TEL03-5603-1863 1993年創刊

<http://www.hblri.org>

◇33/136 (49-1 通219) 2023.3 A5 166p 2000円

二〇二一年度第一回歴史部会の記録 大正知識人の指導者意識と部落

解放思想—全国水平社創立期における三浦参玄洞・佐野学 佐々木政文  
長野県同和教育副教材『あげぼの』の改訂について—大鹿中学校のま

なびとともに、『私たちは誹謗中傷をしません』宣言への道のり 永池 隆

二〇二二年度第一回歴史部会の記録 横浜の都市下層の歴史から考え

る—「乞食谷戸」と呼ばれた地域の歴史を通じて 藤原 望

史料紹介 『横濱繁昌記』より「半面の横濱 其三 乞食谷戸」 鳥山 洋

八代目弾左衛門(要人)の仕置きと代替わりに関連した在方の動き

—「くりから薬師」建立一件・顛末 松本 勝

史料紹介 草津湯宿逃去り一件 鳥山 洋

◆北区史を考える会会報

〒114-0023北区滝野川3-43-10-301 有馬純雄方 TEL03-3917-8115 1986年創刊

◇146 2023.2 B5 8p

第41回定期総会

報告・林 健一

第463回 月例研究会 赤羽飛行場の新資料

木間 孝夫

第464回 月例研究会 「承久合戦」直後の北条氏と三浦氏

伊藤 一美

第466回 月例研究会 講演 江戸東京野菜の魅力

講師・大竹道茂氏

報告・有馬純雄

◆郷土史 八王子市川口郷土史研究会

〒192-0151八王子市上川町3160-9 車田勝彦方 TEL042-654-3101

◇44 2023.3 B5 6p

鎌倉古道と畠山重忠 表紙：鎌倉裏街道(上川町) 撮影・伊藤勝之 車田 勝彦

令和四年総会・懇親会 継続こそ会の力なり

岡村 繁雄

古地図に見る町の歴史

五味 元

『歴史研究』に再掲載 車田氏の「牛頭天王と八王子」

令和4年度 川口中学校の地域学習 郷土の歴史・文化を語り継ぐ 瀬沼 秀雄

令和4年秋の史跡見学会 八王子城跡・御主殿周辺を歩く

吉田 待江

市民自由講座 八王子市生涯学習センター川口分館主催

わが町、川口の魅力を学ぶ

瀬沼 秀雄

◆儀礼文化ニュース 儀礼文化学会

〒160-0012新宿区南元町13-7 TEL03-3355-4188 <http://www.girei.jp>

◇229 2023.3 A4 8p

催事スケッチ 富山県射水市 新湊の獅子舞

街中どこに行っても獅子舞だらけ

写真と文・久保田裕道

第四十二回定期大会を六月に開催 催しは「雅楽・舞楽」

第三十一回関西支部 秋季学術大会開催される

栗田恵津子

儀礼文化を語る 儀礼文化講座(令和4年度第7回) 香道

「四季の香り」 御家流香道二十三代宗家 三條西堯水

儀礼文化を語る 儀礼文化講座(令和4年度第8回) フラワーデザイン

「ギリシャ神話と花～古代のロマンに思いを馳せて」

マミフラワーデザインスクール校長 川崎景介

レポート 儀礼文化セミナー(令和4年度第4回) 礼法 「礼法・弓

馬術の体験」 弓道述礼法小笠原牧場三十一世 小笠原清忠 遠藤 理史

ミュージアム探訪一明治神宮ミュージアム「寿ぐ美一吉祥の意匠をと

おして」

書棚 児玉絵里子著『初期歌舞伎・琉球宮廷舞踊の系譜考一三葉葵紋、

枝垂れ桜、藤の花』

◆月刊神田画報 カンダデザイン

〒101-0064千代田区神田猿樂町2-2 澤田ビル206 TEL03-3296-7121

◇183 2023.3 A4 4p

昔むかしの神田探訪(101) 素人相撲の元締め・神田の髻達磨 酔馬 主水

◆現在学研究 現代学研究会

〒146-0091大田区鵜の木2-33-81 2018年創刊

◇11 2023.3 A5 72p

共働き子育てにおける母親の〈個〉 高久 舞

「遊び」と「子ども」 倉石 忠彦

コロナ禍における博物館の体験学習授業：

川崎市立日本民家園を事例に 真保 元

香りの民俗学(序)：やしょうま作り体験を通じて 倉石 美都

◆交通史研究 交通史学会(発売：吉川弘文館)

〒992-0025山形県米沢市通町6-15-1 山形県立米沢女子短期大学日本史学科

原淳一郎研究室気付 1976年創刊 <http://www.kotsushi.org>

◇102 2023.3 A5 94p 2500円

高度経済成長期における国鉄ローカル線廃止

—幸袋線の廃止をめぐる— 三木 理史

近世柏原宿における橋梁維持管理体制

—道中奉行・個別領主・宿の関係に注目して— 松浦 智博

書 評

榎原雅治著『地図で考える中世—交通と社会』 山田 邦明

山本志乃著『団体旅行の文化史—旅の大衆化とその系譜』 寺門 雄一

例会報告要旨 2022年度第2回例会報告 ミニシンポジウム「鉄道旅

行の聖と俗」鈴木勇一郎「開催趣旨」、平山昇「鉄道が変えた社寺

参詣—「初詣」の誕生、「初大師」の迷走」、菅沼明正「鉄道と修学

旅行—修学旅行をめぐる鉄道会社の動向」 文責・鈴木勇一郎

収蔵資料紹介 第一回 物流博物館の映画資料 玉井 幹司

◆史 叢 日本大学史学会

〒156-8550世田谷区桜上水3-25-40 日本大学文理学部史学研究室内

TEL03-3329-1151

◇108 2023.3 A5 63p

《日本中世史特集号》

特集にあたって

日本大学史学会(小川雄・高鳥廉・稲川裕己)

関幸彦副会長略年譜・主要業績

シンポジウム「日本史の転換期と東アジア世界」(趣旨)

「刀伊の入寇」と王朝軍制	関 幸彦
蒙古襲来と日中交流—境界史の視点から	村井 章介
「オランカイ」侵攻と東ユーラシア情勢	小川 雄
鎌倉幕府初期の蹴鞠の導入	和田 潤
足利氏と京都—義氏期を中心に	稲川 裕己
室町期における尼僧の活動と足利将軍家—光聚院・広慶院の事例から	高鳥 廉
洪武帝の対日姿勢—明使趙秩を中心に	関 志峰

◆城郭だより 日本城郭史学会会報

〒174-8691板橋区板橋北郵便局私書箱50号 Tel.03-3967-1948

年6000円 1993年創刊

◇121 2023.4 A4 6p

福井城下馬門土橋の石垣出土

最近の城郭ニュースから1 岐阜城 信長期の石垣発見 天守台長さ  
十四メートル／三木城跡 枳形虎口堀跡発見／大桑城 曲輪群に中  
央通路／丸岡城 曲輪の基礎跡か

最近の城郭ニュースから2 松代城 三日月堀の痕跡確認／篠脇城  
庭園跡か／島原城 発掘調査から

目安箱 天守・天主・天守閣(平成19年第56号「城郭だより」西ヶ  
谷恭弘執筆を転載)

最近の注目される城郭図書から 岩本誠城著『山梨の古城』、向井裕  
知編『北陸の名城を歩く 石川編』、岡寺良編『九州の名城を歩く  
福岡編』

各地の城郭研究会の活動から 日本古城友の会、和歌山城郭調査研究  
会、戦国と城を学ぶ会

日本城郭史学会活動から 一月見学会 武蔵小沢城・菅寺尾城、二月  
見学会 鹿沼城、三月見学会 東京湾千代ヶ崎砲台

◆常民文化 成城大学常民文化研究会

〒157-0066世田谷区成城6-1-20 Tel.03-3482-1181 1977年創刊

- ◇46 2023.3 A5 198p  
 フィギュアスケートともの—ものからみた技術と役割  
 包括的「常民」概念の可能性 荒川 祐有  
 —マイノリティによる芸術活動を読み解く 荒木 生  
 「ことば遊び」から見る補い合い  
 —カトリック麹町聖イグナチオ教会国際青年会の例 増田 紗斗  
 公啓法親王からみる輪王寺宮の基礎研究  
 —近世中期における宮門跡継承の変化 松本 大暉  
 人称代名詞の格変化不可能性とファティック機能  
 —バンヴェニスト・フッサール・マリノフスキー 木下 聖三  
 川崎市立日本民家園所蔵伊藤家文書「防除の志おり」の翻刻と若干の  
 検討—多摩丘陵の農家の一年を探る資料として 真保 元

◆杉並郷土史会史報

〒167-0022杉並区下井草3-12-9 新村康敏方 1973年創刊

<http://www.sugi-chiiki.com/rekishikai/>

- ◇298 2023.3 A4 8p 400円  
 杉並の偉人・内田秀五郎と今村力三郎  
 —専修大学所蔵資料の整理に携わって 山田兼一郎

◆西郊民俗 西郊民俗談話会

〒112-0005文京区水道2-3-15-403 小池淳一方 年2000円 1957年創刊

<http://seikouminzoku.sakura.ne.jp>

- ◇262 2023.3 B5 28p  
 過疎集落における周期的祭礼の行方  
 —福島県大沼郡金山町上横田の熊野神社渡御祭(1) 滝沢 智宏  
 埼玉県の麦脱穀と「麦押唄」—ヤレオセソレオセと促す囃子詞 榎本 直樹

◆世田谷区誌研究会会報

〒158-0094世田谷区玉川3-30-5 野岸敏雄方 年2000円

<https://setagaya-kushiken.jimdofree.com>

- ◇2023-3 2023.3 A4 8p  
 活動報告 2月講演会「大江戸をめざす千石船」講師：柘植信行氏(元  
 品川郷土資料館副館長)  
 令和4年度 講演会記録／令和5年度 講演会予定／令和5年度 史  
 跡散歩

喜多見地区の資料贈呈 会員・佐久間亨氏蒐集資料

世田谷の民話(41) 野毛の狐 豊田真佐男

世田谷の民話(42) 人魂(ひとだま) 豊田真佐男

◇2023-4 2023.4 A4 6p

世田谷の民話(43) 喜多見の村君、農婦にわびる 作者・桜井正信

世田谷の民話(44) 「ふるさと世田谷を語る」より

奉公／別邸の歴史／現在の民話のふるさと

◆戦国史研究 戦国史研究会(発売:吉川弘文館)

1981年創刊 <http://www.sengokushi-kenkyukai.jp>

◇85 2023.3 A5 52p 682円

明応年間における和平交渉の展開と「二人の将軍」 車谷 航

「御牢人」九条植通の復権一弘治・永禄年間の動向から 岩本 潤一

戦国期の細川一門「五条殿」 川口 成人

三好氏と雑賀 天野 忠幸

戦国史関係論文目録(令和4年1月～6月)

例会報告要旨

第499回例会 織田権力の交通政策と伝馬・飛脚 山下 智也

第500回例会

将軍義昭・織田信長関係小考一五カ条の条書を考える 山田 康弘

第501回例会 英国通商成立までのウィリアム・アダムスの十三年

間の動向を検証する 鈴木かほる

第502回例会 妙心寺派における出世について 岩永 紘和

第503回例会 豊臣・徳川政権と伊達政宗 佐藤 貴浩

第504回例会 天正十九年の「藤原家康」一笠谷和比古氏・岡野友彦

氏の天正十六年源氏改姓に係る所説を否定する史料 小林輝久彦

◆大道芸通信 日本大道芸・大道芸の会

〒157-0061世田谷区北烏山2-3-9-101 光田憲雄 TEL03-3307-2146

<http://daidogei.info>

◇374 2023.1 A4 2p 100円

江戸東京愛好者研究者の必携書『江戸から明治へ』ついに刊行

初午／桃の節句

◇375 2023.2 A4 2p 100円

烏山新年子どもまつり I 浅利売り 恒輝／II よかよか飴売り 海帆

／III かりんと売り 恒輝／IV 物産飴売り 美佳／V 玉すだれ 叶

空・恒輝・海帆・美佳

香具師の原点 葉売り／縁日ある記『二』 長松・三太郎共記（『大道  
芸通信』第55号 1999(平成11)年12月16日(木)発行)

◇376 2023.3 A4 2p 100円

江戸の変った生業 踊るスタスタ坊主と仲間のラッパ屋さん

◆たちかわ物語 市史編さん広報紙

〒190-0022立川市泉町1156-9 立川市産業文化スポーツ部地域文化課  
市史編さん担当 TEL042-506-0021 2015年創刊

[http://www.city.tachikawa.lg.jp/chiikibunka/sisi/hensanshitu/shishi\\_top.html](http://www.city.tachikawa.lg.jp/chiikibunka/sisi/hensanshitu/shishi_top.html)

◇14 2022.9 A4 12p

表紙 東京五輪の聖火リレー 昭和39年(1964)／子供迎え火 昭和50  
年(1975)頃／砂川分水で遊ぶ子どもたち(柏町) 昭和36年(1961)頃  
／すずらん通商店街 昭和45年(1970)

立川おっこぼれ話 立川飛行場100年一地図にその変遷をみる

部会短信(令和4(2022)年度後期)

市史のつくりかた 写真でたどるくらしの歴史

資料を読む 大和田遺跡第1・3・4 地点発掘調査資料の縄文土器 秋山 道生

◆多摩地域史研究会会報

〒207-0033東大和市芋窪4-1735-1-103 梶原方 1991年創刊

<http://tamatischen.web.fc2.com>

◇153 2023.3 B5 8p

第114回例会報告 小沢城と深大寺城

梶原 勝

現地レポート 廃棄された陶磁器製手榴弾(容器)

梶原 勝

新刊紹介 『御遷宮三百五〇年大祭記念誌 写真と資料から見る 田  
無神社』／伊奈石の会誌『伊奈石』第26号／『古文書で読む 多摩  
川・浅川と日野 軌跡Ⅳ』

◆多摩のあゆみ たましん地域文化財団

〒186-8686国立市中1-9-52 TEL042-574-1360 年600円 1975年創刊

<https://www.tamashin.or.jp>

◇189 2023.2 A5 102p

《特集 多摩の動物園》

武蔵野の森で、動物に親しみ、木々に触れ、芸術に触れる

一井の頭自然文化園

金子美香子

- 多摩動物公園ができること 香坂美和／清水勲／高柳真世  
 動物が生まれ、生き生きと暮らす動物園に向かって  
 ーヒノトントンZOOのあゆみと仕事 ヒノトントンZOO(羽村市動物公園)  
 町田リス園の誕生とあゆみー全ての生命の垣根のない動物公園を 福田 啓一  
 動物たちの第二の生涯 郡司 芽久  
 洋風建築への誘い(78) 玉川上水の流れ・橋・建物(3) 伊藤 龍也  
 建物雑想記(73) 実は快適、初期分譲マンション 酒井 哲  
 古文書は語る(64) 八王子千人同心塩野適斎の葬送  
 ー古谷家文書「勇荘院殿葬送式記録」より 馬場 憲一  
 多摩の金融史(23) 多摩地域の証券店舗網 佐藤健太郎  
 多摩の歴史を立体視！ー赤色立体地図の風景(16) 赤色立体地図によ  
 る檜原風穴一都内唯一の蚕種貯蔵風穴の立地とその現況について 清水 長正  
 本の紹介  
 武蔵野市立武蔵野ふるさと歴史館編『武蔵野地域探究ー歴史と環境  
 から考える未来ー』 内川 隆志  
 滑川邦夫著『古文書が語る 田無村 村人の喜怒哀楽』 松尾 政司

◆たまのよこやま 東京都埋蔵文化財センター報

〒206-0033多摩市落合1-14-2 TEL042-373-5296 1984年創刊

<https://www.tef.or.jp/maibun/>

◇131 2022.12 A4 8p

1/964(54) 多摩ニュータウンNo.72・795・796遺跡特集(3)

- 整理作業から報告書刊行 丹野 雅人  
 遺跡だより(134) 豊島区 長崎一丁目周辺遺跡 橋本 望  
 ある遺跡は現在！？(21)  
 都営野毛町アパート 世田谷区下野毛遺跡 武内 啓  
 学芸員(なかのひと)のお仕事(3) イベントの運営 舟木 太郎  
 令和4年度 企画展示「境・道・恵ー多摩丘陵の3つの顔」  
 解説(3)「恵」 宮本 由子

◆調布市郷土博物館だより

〒182-0026調布市小島町3-26-2 TEL042-481-7656 1978年創刊

◇84 2023.3 A4 8p

- 子どもはくぶつかん再開！ 小堀 槇子  
 佐須祇園寺薬師大祭を訪ねて 佐山 淳史  
 郷土学習展「ちょっと昔の暮らし」開催報告 佐山 淳史

収蔵品展「調布ゆかりの美術―市川鍊琅・関野準一郎―」開催報告 芝崎由利子  
令和四年度ギャラリー展 開催報告 小森 真衣  
YouTube 動画「調布今昔写真館 調布駅編」を制作して 芝崎由利子  
令和3年度事業報告 展示活動／教育普及活動

◆伝え 日本口承文芸学会

〒182-8525東京都調布市緑ヶ丘1-25 白百合女子大学人間総合学部 間宮史子  
研究室 TEL03-3326-5144 年4000円 1987年創刊 <https://ko-sho.org>

◇72 2023.2 B5 4p

「語り手論」の行方 大島 廣志  
第82回研究例会報告 シンポジウム「幻の動物をめぐる世間話―ツチ  
ノコを追って」 今井秀和「現代における「幻の動物」略年譜」、今  
井友樹「映画『榎の子物語―東白川村の目撃談―』とツチノコをめ  
ぐって」、山川志典「世間話研究から読み解く『榎の子物語―東白  
川村の目撃談』」／司会・コメンテーター：伊藤龍平 伊藤 龍平  
特集 各地の語り・語り手・語りの場の紹介  
伊豆の国市発「昔話の部屋」―鈴木凜さんと昔話の50年 神田 朝美

◆東京産業遺産学会 NEWSLETTER

〒174-0046東京都板橋区蓮根2-29-10 新蓮根団地105 多田統一方 FAX03-  
3964-8548／〒352-0011埼玉県新座市野火止4-8-43 柚須絃一方 FAX048-479-  
7490 年2000円 <http://tias3.web.fc2.com>

◇159 2023.3 A4 6p

2023年度東京産業遺産学会総会を開催  
東京産業遺産学会 2023年度総会の概要  
種物音頭は産業遺産か？ 有馬 純雄  
子供の目から見た産業遺産 多田 統一  
貨物鉄道博物館がクラウドファンディングを実施中  
「東京大空襲と都市伝説」を聞いて考えたこと 柚須 絃一  
12月理事会の概要  
茨城県ひたなか市の赤煉瓦建築物(6) 「第二勝倉架道橋の橋台」  
文・写真 八木司郎

◆日本民俗学 日本民俗学会

〒113-0034文京区湯島4-12-3 TEL03-5815-2265 年8000円 1953年創刊  
<https://www.fsnet.jp>

◇313 2023.2 A5 162p

金魚養殖の技術にみる人間の介入

—奈良県大和郡山の金魚池養殖とため池養殖の比較から 新海 拓郎  
地域認識の顕在化とモノの同質／異質

—「鬼無里」とナガノの屋台から 樋口 明里

小特集 半島のアート、民俗の果て—奥能登国際芸術祭と民俗文化研  
究の節合の試み（第74回年会プレシンポジウム採録）

アートと民俗文化研究の節合の試み

—奥能登国際芸術祭を事例として 川村 清志

芸術祭における地域や場所との関係性

—大蔵ざらえからスズ・シアター・ミュージアム 南条 嘉毅

地域の記憶と時間を結び直す《待ち合わせの森》

—珠洲キリコ祭りより 大川 友希

アーティストと市民との協働による

—民具の「緩やかな保存」の取り組みと展望 川邊 咲子

書 評

蔣明超著『石敢當の比較研究—中国・沖縄・鹿児島・奄美』 森田 清美

書誌紹介

御坊市教育委員会『御坊祭総合調査報告書』 村上 忠喜

新谷尚紀著『遠野物語と柳田國男—日本人のルーツをさぐる』 関沢まゆみ

宮前良平著『復興のための記憶論—野田村被災写真返却お茶会のエ

スノグラフィ』 岩崎 真幸

菊地暁著『民俗学入門』 村上 忠喜

『日本民俗学』 総目次(第310号～313号)

#### ◆東村山ふるさと歴史館だより

〒189-0021東村山市諏訪町1-6-3 TEL042-396-3800 1997年創刊

◇72 2022.12 A4 4p

特集 全生病院と最寄りの駅

病院の町のはじまり／患者専用ホームのあった頃 (松崎)

むらやま茶屋 全生園を訪れた渋沢栄一 (大藪)

#### ◆府中市史編さんだより

府中市文化スポーツ部ふるさと文化財課市史編さん担当

〒183-0023府中市宮町3-1 ふるさと歴史館 TEL042-335-4376

2016年創刊 <http://www.city.fuchu.tokyo.jp/bunka/bunka/shishihensan/>

◇12 2022.12 A4 8p

『新府中市史 近現代 資料編下』を刊行／『新府中市史』新刊紹介  
専門部会の活動報告—考古・美術工芸専門部会  
部会通信(令和4年1月～令和4年6月)

◆ぶんかざいおおた 大田区教育委員会大田図書館文化財担当

〒143-0025大田区南馬込5-11-13 大田区立郷土博物館内 TEL03-3777-1281

◇25 2022.10 A4 6p

特集 日蓮宗と大田区の文化財 大田区の日蓮像／不受不施派と池上  
本門寺周辺／題目講と庚申塔  
遺跡 都史跡指定70周年記念！ 宝萊山古墳（大田区遺跡番号38）

◆民衆史研究 民衆史研究会

〒162-8644新宿区戸山1-24-1 早稲田大学文学学術院 藤野裕子研究室研究室  
気付 1962年創刊

◇104 2023.2 B5 100p 1750円

特集 近世都市祭礼と民衆

特集にあたって

民衆史研究会委員会

近世都市における民衆と祭礼の関係性

—江戸の大型祭礼を手がかりに

滝口 正哉

江戸前期の大坂における都市祭礼の基礎的考察

本多 健一

宿場町熱田における祭りの場と内容の変化

渡辺 康代

花山院と藤原実資

手嶋 大侑

書 評

大石学・時代考証学会編『戦国時代劇メディアの見方・つくり方—

戦国時代イメージと時代考証』

山口 啄実

西谷正浩著『中世は核家族だったのか 民衆の暮らし方と生き方』

福丸 恭昂

飯田直樹著『近代大阪の福祉構造と展開—方面委員制度と警察社会  
事業』

今井小の実

新刊紹介

吉村武彦・川尻秋生・松木武彦編『地域の古代日本 東国と信越』

森田 大貴

鈴木則子著『近世感染症の生活史 医療・情報・ジェンダー』

萱田 寛也

須田努著『幕末社会』

大澤 穂高

◆民俗音楽研究 日本民俗音楽学会

〒338-8570さいたま市桜区下大久保255 埼玉大学教育学部 磯田三津子研究

室気付 <http://www.s-jfm.org>

◇48 2023.3 B5 80p

青森県八戸市の伝統芸能「えんぶり」の教材化と授業開発

一郷土の伝統芸能や音楽を取り扱う音楽科の授業の構築 萬 司

千葉県船橋市湊町の「ばか面おどり」における《岡崎》の旋律に関する考察 小出 英樹

〈第35回大会報告「鎌倉の音楽文化—民俗音楽の視点から」(2022 鎌倉)〉

特別講演 まつりをする人々の思いとその地域の世界、音楽を考える

小島 美子

民俗芸能公演 雅楽(管弦) 演目:平調音取/越展楽(平調)/陪臚

(平調) 解説:寺田真由美/公演:藤沢雅楽協会 文責・寺田真由美

シンポジウム 「鎌倉の音楽文化—民俗音楽の視点から」 司会 木内靖/

シンポジスト 佐野和史・守屋隆広・城所恵子

歴史的にみた鎌倉の神楽と木遣唄 城所 恵子

鎌倉神楽と職掌神楽の成立 佐野 和史

白旗神社における湯立神楽とその実演 守屋 隆広

研究発表 要旨と質疑応答

阿波踊り「ぞめき囃子」の三味線奏法の伝承について

一学生連を中心に 川内由子/文責・岡部芳広

藤沢の湯立神楽における演目「剣舞」「毛止幾」について

一神楽囃子《三つ拍子》との関係から 川崎瑞穂/文責・萬 司

「福田十二神楽」(福島県相馬郡新地町)の芸態と継承のかたち

一こどもたちが教え、こどもたちが舞う 上西律子/文責・萬 司

ブータンの土壁づくりうたパチ *pa tsi* の教材化

一授業実践を通して民謡学習の未来を考える

黒田清子・Pema Wangchuk・伊野義博・権藤敦子

/文責・山本真弓

音階の視点を取り入れた日本の民俗音楽学習の提唱

一小学校教員養成の授業実践を通して 尾見敦子/文責・山本幸正

2022(令和4)年度 日本民俗音楽学会活動報告

藤井知昭先生を悼む

会長 岩井正浩

◆武蔵村山市立歴史民俗資料館報 資料館だより

〒208-004武蔵村山市本町5-21-1 TEL042-560-6620 1983年創刊

<https://www.city.musashimurayama.lj.jp/kankou/spots/rekishiminzoku/>

◇63 2021.9 A4 12p

むさしむらやま歴史散策コース 南西コース2「軽便鉄道跡」  
新・むさしむらやま歴史散策コース  
新刊案内「むさしむらやま歴史散策コース」

## 神奈川県

### ◆小田原史談 小田原史談会

〒250-0021小田原市早川160 青木良一方 TEL0465-22-8852  
年3000円 1961年創刊 <http://odawara-shidan.hustle.ne.jp>

◇273 2023.4 A4 28p

小田原市民会館・大ホール壁画の謎 深野 彰  
文化二年『小田原御家中御分限并御役付』翻刻 大井 みち  
『小田原史談』再録(第70号 昭和49年1月)「小田原史談会事始」の記  
“大正七年”(末次富士子夫人聴書帳より) 中里 史子  
「一〇〇年前の小田原」白秋と小田原ゆかりの文学者たち 石井 敬志  
拓本集団「星の会」を立ち上げました 鳥越銑之助  
故木曾正雄さん「赤い夕日が沈む」(ソ連国境での軍隊生活とシベリ  
ヤ抑留の記録)が自費出版されました

「片岡日記・明治編」こぼれ話(2)

はじめに 片岡日記を読む会  
第一話 蛍狩りの話 星野 和子  
第二話 宵に見たる小説の夢 青木 良一  
第三話 東コウト衣たる婦人 青木 良一  
第四話 夢を買う話 青木 良一

本誌二七二号の訂正／本誌二七二号「相模湾から見た人類の歴史(下)」

(杉山浩平著)記事に関する補足

「片岡日記・明治編」こぼれ話(民俗編) 世俗の風習／第一話 四十

二の二つ子／第二話 虫歯まじない／第三話 まむしよけ札

片岡日記を読む会(松島俊樹)

昭和初期の「小田原消防組」の写真

編集部

### ◆神奈川県立公文書館だより

〒241-0815横浜市旭区中尾1-6-1 TEL045-364-4456 1994年創刊  
<https://archives.pref.kanagawa.jp/www/>

◇48 2023.3 A4 2p

幕末の異国船来航関係資料 令和4年度古文書講座資料から 近藤 絢音

◆かまくら女性史の会 Newsletter

〒248-0012鎌倉市御成町18-10 N P Oセンター鎌倉気付 メールボックス26  
2013年創刊 <https://kanagawajoseishi.jimdofree.com>

◇103 2023.3 A4 2p

鎌倉の保育Ⅱ～昭和初期から終戦まで 2022年度「ファンタスティック・ライブラリー111」の展示作品抜粋の2回目を掲載します (高階)  
シリーズ：私たちの「戦争体験」(28) 第4話「山越えの逃避行」 阿部 光世  
ドキュメンタリー映画「若きハルサーたちの唄」  
企画・撮影・編集：湯本雅典 (曾原)

◇104 2023.4 A4 2p

かまくらの保育Ⅱ～昭和初期から終戦まで  
大船幼稚園／比企谷幼稚園／聖心の園幼稚園 (横松)  
シリーズ：私たちの「戦争体験」(29) 第5話「山越えで会寧駅へ」 阿部 光世  
横須賀芦名の淡島神社へフィールドワーク (高階)  
「新鎌倉市史」編纂事業要求の陳情が採択！ (曾原)

◆市史通信 横浜市史編集室

〒220-0032横浜市西区老松町1 横浜市中央図書館地下1階 TEL045-251-3260  
2008年創刊 <https://www.city.yokohama.lg.jp/city-info/yokohamashi/gaiyo/shishioryo/>

◇46 2023.3 A4 12p

横浜における学童疎開 金 耿昊  
戦場体験と戦後 羽田 博昭  
震災復興土地区画整理前、ある土地一筆の記録 百瀬 敏夫  
横浜様相連盟 街頭ファッション・ショー 上田 由美  
閲覧資料紹介 『横浜市の学童集団疎開』(一九八五年) 金 耿昊

◆自然と文化 平塚市博物館研究報告

〒254-0041平塚市浅間町12-41 TEL0463-33-5111 1977年創刊  
<https://hirahaku.jp>

◇46 2023.3 A4 110p

米軍コロネット作戦に対する第53軍の本土防衛  
一終戦時における大磯地区の部隊配置 市原 誠  
アメリカが記録した1945年7月16・17日の平塚空襲と火薬廠空襲計画 工藤 洋三  
動画「5分でわかる平塚学入門」の視聴状況分析 塚田 健  
明治初期の金目川の治水をめぐる動向 早田 旅人  
『吾妻鏡』に記録された日月食・記録されなかった日月食 塚田 健

◆日本の石仏 日本石仏協会（発売：青娥書房）

〒254-0031平塚市天沼7-59-305 TEL0466-24-0203 年8000円

1977年創刊 <http://sekibutukyokai.jp>

◇179 2023.4 A5 64p 2000円

表紙 調神社の狛兎 埼玉県さいたま市浦和区岸町 写真と文・長島 誠

会長退任のご挨拶 大野 邦弘

新会長就任のご挨拶 川野 明正

特集 尊名のわからない石仏

肥前地方で出会った尊名不詳の石仏 中野 高通

尊名のさだまらない石仏―地藏・観音・庚申 加藤 和徳

秋田県で出会った尊名の判らない石造物 中森 勝之

謎と不思議な石仏―埼玉県の石仏から 門間 勇

湯大明神として祀られた鴻池善右衛門ゆかりの贈り物 福原 教雄

江戸川沿岸の十三仏信仰―十三仏塔と十三仏庚申塔のこと 石田 年子

丸石道祖神ノート(8)―丸石信仰の展開(6) 山の神との比較から 岡田 均

本邦石造物研究の歴史(6)

1958年(昭和33年)から63年(昭和38年)まで 嘉津山 清

石彫の現場から 石仏協会と私、石仏を彫りつづけて 倉田 辰彦

コラム 川崎市多摩区長沢の諏訪社の護石 清水 亨桐

第136回石仏見学会報告 越谷市の石仏見学会 門間 勇

誌上講座 石仏入門(33) 「日本石仏図典」補足・Ⅵ 門間 勇

第47回総会報告／日本石仏協会主催「石仏写真展2023」報告

◆民具マンスリー 神奈川大学日本常民文化研究所

〒221-0802横浜市神奈川区六角橋3-27-1 TEL045-481-5661 年3500円

1968年創刊 <http://jominken.kanagawa-u.ac.jp>

◇659 (55-11) 2023.2 A5 24p 350円

ハンセン病療養所の自助具、義肢、補装具をめぐる 西浦 直子

義足という民具について 木下 直之

書籍紹介 岩崎書店編集部編『消えゆくくらしのモノ事典』 西蓮寺 匠

◇660 (55-12) 2023.3 A5 24p 350円

民具としての公共彫刻―「竹の塚彫刻の道」の事例から 中山 咲

山の衣生活―滋賀県湖東の一軒の資料から 横田 尚美

民具短信

神奈川大学「ふいご祭り」 丹羽 英二

横浜市歴史博物館「動画を見て調べよう！昔の道具とくらし」 羽毛田智幸

第55巻総目次

日本常民文化研究所 2022年度活動報告より

◇661 (56-1) 2023.4 A5 24p 350円

信州中馬の荷鞍	野池 優太
民具短信 都市の「表札」—東京都調布市	むらき数子
アチック・ミュージアムの民具コレクション(43) 轡 一双二筒	小島 摩文
書籍紹介 『神宿る隣の自然—祭祀一体の緑から地域の健全な暮らし方を探る』 上甫木昭春・押田佳子・上田萌子・大平和弘編著	

新潟県

◆観賞 新潟文化財観賞会

〒950-0852新潟市東区石山3-12-19 斎藤寿一郎方 TEL025-286-1740 年4000円

◇44 2023.3 A5 43p

明治五年の『北溟新聞』(承前)	杉山 巖
続編孝義録料を読む(2)—「癪者」に関する史料	後藤 一雄
資料紹介 天保期、越後郷村に伝えられた改革の指示	中村 義隆
伝統文化を未来へ〜共同企画に寄せて	知本 康悟
事務局だより 文化財ニュース 世界遺産、ユネスコ無形文化遺産、令和三年度国指定文化財、令和三年度国登録文化財、令和三年度新潟県指定文化財(令和4年3月25日指定)(有形文化財(工芸品) 金銅装笈 一背・金銅装笈、有形文化財(考古資料) 高平遺跡出土品 853点、有形文化財(考古資料) 延命寺遺跡出土品 457点	

◆郷土史燕 燕市教育委員会・燕郷土史研究会連合会

〒959-1262燕市水道町1-3-28 燕市教育委員会社会教育課文化振興係  
TEL0256-63-7002 2008年創刊

◇16 2023.3 A5 152p

『郷土史燕 第16号』発刊に寄せて	大江 登
特集 信濃川大河津分水通水100周年—大河津分水を語り継ぐ	
大河津分水の埋もれ木	小林 恒男
信濃川改修工事起工記念杯と自在堰沈下写真はがき	松井 淳
御新田客土組合記念杯	志田 知隆
渡部菅原神社 二ノ鳥居	武内 秀記
大切なことを教えてくれた旧渡部橋	阿部 玲子
私の好きな分水路の思い出	平出 英雄

川の恵みと思い出	清水 恵
大河津橋の思い出	氏田 公基
父のことば	地藏堂町の住民
渡部の昔話	小田進／金子誠一／金塚信義／武内秀記
横田の力	若林 與一
柱が語る横田切れ	解良 節子
大洪水「横田切れ」余話と分水工事余話	高橋 洋雄
元和五年「吉田下江」開削と歴史的意義—大河津分水路開削の原点(1)	亀井 功
本間屋数右衛門の信濃分水掘割請願の歴史的意義	柳下 明也
大河津分水の一揆と刑罰	平澤 陽一
三峰館の塾生達と周辺の人々	竹内 登
良寛関係人名地名等の読み方	本間 明
燕市の遺跡巡り(4) 鎌倉時代の遺跡	
熊ノ田遺跡・小諏訪前B遺跡	本間 敏則
資料紹介 春木五郎の思い出の記録から 信濃川船溜り〈蒸気場〉	高橋 洋雄
表紙の写真について 渡部地内左岸掘削中のエキスカベーター 近代 化産業遺産／治水(写真提供：信濃川大河津資料館)	近代

◆高志路 新潟県民俗学会

〒950-0916新潟市中央区米山3-1-31-1101 金田文男方 TEL025-241-9402

1935年創刊 <https://fsnp.mints.ne.jp>

◇427 2023.3 A5 62p

ショウキサマが戦地に赴く説話	石本 敏也
阿賀町の「高倉宮以仁王伝説」	小澤 弘道
樋山康作氏の長岡瞽女の写真撮影、並びに金子セキ瞽女泊まり宿の歎 迎と励ましの言葉	鈴木 昭英
労働と伝説—機織りにまつわる伝説から	山沢 拓見
新潟県神社明細帳記載の由緒について—記紀・風土記等を通して	金田 文男
慈光寺大蛇伝説考	高橋 郁子
「こうろば」私見	灰野直義／坂井美香
令和四年度(2022)年末談話会概要報告	森 行人
鷺崎に吹く風の呼び名	
盆踊り「大の阪」	金田 文男
表紙写真 トント昔があったと	駒形 魁
モグラモチの唄	

表紙写真 トント昔があったと 撮影者：駒形颯  
場所：十日町市仙之山 撮影時期：昭和33年冬に

◆新潟史学 新潟史学会

〒950-2102新潟市西区五十嵐二の町8050 新潟大学人文学部史学研究室内  
TEL.025-262-6289 1968年創刊

◇84 2023.1 A5 58p 1000円

追悼 井上慶隆先生を偲ぶ

田中 洋史

中世鏝阿寺の祈禱文書について

森田 真一

御雇教師キング暗傷事件についての考察

—その外交的含意を中心として(下)

青柳 正俊

第71回新潟史学会研究大会・総会記事

2021年度卒業論文・修士論文題目

◆良寛だより 全国良寛会会報

〒951-8112新潟市中央区南浜通2 北方文化博物館新潟分館内  
TEL.025-222-2262 1978年創刊

◇180 2023.4 A4 16p

リレーエッセイ 良寛つれづれ(29) 現代人の心に響く良寛さんの歌

「良寛和尚像」遍澄・画(へんちょう 1801~1876年) 蔵雲・賛(ぞううん 1812~1869)

石井 正一

良寛遺墨鑑賞(28) 『中庸』章句序 堯告舜曰

小島 正芳

各地良寛会だより(20) 新潟良寛研究会の巻

立花 純子

東京良寛会設立40周年記念 第45回全国良寛会東京大会 参加申し込みのご案内/第46回 全国良寛会大会 来年は6月に福島県柳津町

で開催

事務局

清らかな書風の成り立ちが分かる 東京で特別展「良寛の書の世界」小島 正芳

大森子陽が師事した細井平洲と良寛(上)

齋藤 達也

良寛さんと須磨寺(2)

器楽堂ゆう子

私の好きな良寛さん

私が推す「今良寛」

高木 寛治

良寛さまを想って

長瀬 悦子

若き良寛修行の地をゆく一備中玉島・円通寺(上)

原 崇

相馬御風の良寛(29)一農民を詠んだ良寛と御風の歌

金子善八郎

良寛を今に伝えた人びと(10) 鈴木文臺

本間 明

トピックス

てまり庵にて、特別展「良寛漢詩・篆刻展」好評開催／中国鎮江市より「年賀状」

柳本 雄司

「第二会全国短歌・俳句」の入選作決まる 良寛椿の会主催／第三回良寛・貞心尼手まり茶会の案内

新刊紹介 『良寛さん玉島いつわ集』発行

原 崇

会報紹介 にいがた良寛第77号(新潟良寛会)、良寛第110号(分水良寛会)、岡山県良寛会会報第108号(岡山県良寛会)、洗心第32号(御風会)

吉井 清一

良寛を訪ねて(29) 「歳暮の品々 恭受納仕俵」

吉井 清一

## 富 山 県

### ◆富山史壇 越中史談会

〒930-0115富山市茶屋町33-2 富山県公文書館内 TEL076-434-4050

1954年創刊 <https://shidankai.web.fc2.com>

◇200 2023.3 A5 142p 1300円

《第200号 記念特集号》

八世紀の令制「越中国印」をめぐって

谷沢 修

『放生津幕府』論—明応の政変と將軍足利義材の越中動座

松山 充宏

遺跡からみた蜷川館の成立—宮道・蜷川氏の拠点を辿って

鹿島 昌也

中近世移行期の富山城・城下町に関する諸論点

萩原 大輔

富山藩主前田正甫の日蓮宗改宗が及ぼした影響について

浦畑奈津子

新川郡の家伝薬「養立湯」販売の実態と近世富山売薬との比較から

兼子 心

幕末期富山藩政と加賀藩

石野 友康

一八八九～九〇年の富山市の米騒動と救済

目 次	
富山県歴史文化推進センター富山史壇 特別刊行にあたって	1
目次	
足利三代義満「放生津幕府」をめぐって	14
「放生津幕府」論—明応の政変と將軍足利義材の越中動座	18
遺跡からみた蜷川館の成立—宮道・蜷川氏の拠点を辿って	27
中近世移行期の富山城・城下町に関する諸論点	32
富山藩主前田正甫の日蓮宗改宗が及ぼした影響について	42
新川郡の家伝薬「養立湯」販売の実態と近世富山売薬との比較から	54
幕末期富山藩政と加賀藩	67
一八八九～九〇年の富山市の米騒動と救済	77
富山史壇編集後記	141
富山史壇編集後記	141
富山史壇アソシエーションより富山史壇編集後記	141
「富山史壇」発行の経緯と富山史壇の歴史	142
編集後記	142
富山史壇編集後記	142

2023.3

越中史談会

- 一市制施行直後の事例として 尾島 志保  
 資料保存と普及活動 住民参加型ワークショップによる歴史資料保全  
 の取り組み―「明治記念館下張り文書はがし体験教室」(富山県朝日  
 町) 梶青華／川端典子／近藤浩二  
 資料保存と普及活動 インターネットオークションと立山信仰史料  
 一立山曼荼羅や立山縁起の購入から浮かび上がる諸問題 福江 充  
 資料保存と普及活動 放生津八幡宮の曳山・築山行事  
 一 国重要無形民俗文化財指定と今後の課題・展望 金三津英則  
 最近の地方史情報

\*越中史壇会は1954年、「いまだ県民が学問の恩恵を受け得る社会環境にはなかつた時期に、地域の歴史学研究の灯を点そうと、富山県在住の歴史研究者ならびに同好の人々を結集して発足し」(米原寛「越中史壇会の諸活動の公開にあたって」 同会ホームページ <https://shidankai.web.fc2.com/profile.html>)、今年で70年になる。当初の会員は11名であった。

発足の年の1月に機関誌『越中史壇』を創刊し、第31号(1965.5)から『富山史壇』に改題した。年3回の発行を維持し、この度、第200号記念特集号に到った。

会の活動は、機関誌発行のほか、毎年の総会に合わせて特別のテーマで集中的に討論を行う特別研究発表会、数点の未発表のテーマを話題提供する研究発表大会、県内外の研究者を招いた特別講演会の四本立てで行われている。この間、1965年に開始された富山県史編纂事業の編纂・執筆メンバーとしても参加している。

創立以来の経過は、第199号「プレ第200号記念特集号」(2022.12)に詳しい。弛まぬ歩みに敬意を表したい。

#### ◆北陸石仏の会会報

〒939-1315砺波市太田1770 尾田武雄方 TEL0763-32-2772

年3000円 1993年創刊 <http://odatakeo.wp.xdomain.jp>

◇69 2023.4 A4 6p

庄川町小牧の石仏たち

尾田 武雄

続・近くにある二臂千手観音墓標といわれ

平井 一雄

閻魔とその周辺

滝本やすし

## 石 川 県

#### ◆石川れきはく 石川県立歴史博物館

〒920-0963金沢市出羽町3-1 TEL076-262-3236 1986年創刊

<http://ishikawa-rekihaku.jp>

◇140 2022.9 A4 8p

表紙 サメの歯がついた儀礼用冠 市立函館博物館蔵

令和4年度アイヌ工芸品展 石川県立歴史博物館秋季特別展「アトウ

イ 海と奏でるアイヌ文化」

資料紹介 北陸に伝わるアイヌ民族の衣服

大井 理恵

学芸員コラム 広報誌『石川れきはく』発行業務に携わって

中村 賢一

研究ノート 再興久谷における窯道具と重ね積み技術について

野村 将之

◇141 2022.12 A4 8p

表紙 雅楽文様振袖

企画展「れきはくコレクション 2021-2022」

2021-2022年新収蔵資料一覧

資料紹介 加州刀工最長の系統「清光」の新収蔵資料について

野村 将之

学芸員コラム 「北前船」って考えれば考えるほどおもしろい

濱岡 伸也

研究ノート 近代刺繍教育の萌芽《美術応用図 好山生》

鶴野 俊哉

#### ◆日本学研究 金沢工業大学日本学研究所

〒921-8501石川郡野々市町扇が丘7-1 TEL076-248-1100 1998年創刊

◇25 2022.12 A5 232p

皇室経済制度再考—皇室の安定的存続のために

川田 敬一

豊宮崎文庫と籍中について

平泉 紀房

「花と緑ののいち椿まつり」における公開文学講習会に関する事例報告

石川 倫子

翻刻『靈應山平泉寺再興縁起』

平泉 隆房

熱田神宮編年史料(稿本) 中世十七

藤本 元啓

## 福 井 県

#### ◆若越郷土研究 福井県郷土誌懇談会

〒918-8113福井市下馬町51-11 福井県立図書館内 TEL0776-33-8860

年3500円 1956年創刊

◇315 (67-2) 2023.3 B5 63+12p

小浜藩士・津田葛根の役方職務と好学 伴信友の「ともだち」(1)

中島 嘉文

『朝倉家記』所収足利尊氏袖判下文の疑点について

河村 昭一

小丸城文字瓦の解釈と年代

佐藤 圭

安永八亥年給帳にみられる明里御蔵出について

中村 賢

福井県郷土誌懇談会七十年のあゆみ

本会事務局

会員新刊紹介 角鹿尚計著『日本古代氏族の祭祀と文献』

松村 知也

若越郷土研究 論文索引

## 山 梨 県

### ◆地域と社会 佐藤弘

〒402-0005都留市四日市場902-3 2017年創刊

◇12 2022.12 B5 25p

山梨県上野原市秋山における雛鶴姫に関する伝説地の成立とその背景

一昭和戦前期の動向を中心に

森屋 雅幸

大月桃太郎伝説の受容からみた地域の文化意識の形成について

稲垣 自由

## 長 野 県

### ◆飯田市歴研ニュース 飯田市歴史研究所

〒395-0803飯田市鼎下山538 TEL0265-53-4670

<https://www.city.iida.lg.jp/soshiki/39/>

◇123 2023.3 A4 4p

市民研究員候補・歴史研究活動助成・飯田歴研賞2023候補作品を募集  
します

お世話になりました

5年間をふり返って

太田 仙一

風景の歴史を描く

福村 任生

かすかな光へ

田中 雅孝

リレーミニエッセイ(29)―歴研20年を振りかえる

地域の歴史にうもれて

齊藤 俊江

新刊案内 史料で読む飯田・下伊那の歴史3 『山里 南信濃のあゆみとくらし』

### ◆伊那路 上伊那郷土研究会

〒399-4117駒ヶ根市赤穂11193-7 吉田保晴方 年6000円

◇793 (67-2) 2023.2 A5 40p 600円

《井月特集》

生誕200年記念の井月さんまつり

伊藤伊那男氏講演「井上井月と小林一茶」

宮澤 宏治

金子兜太の語った井月と、山頭火、一茶 北村 皆雄  
 井月は宮田に何をしに来たのか—令和4年6月25日  
 宮田本陣歴史まつりの講演原稿より 一ノ瀬武志  
 古文書の窓(172) 八幡宮祭礼での許容願 小口 恵子  
 図説・上伊那の民俗(66) 南宮神社お筒粥神事(箕輪町木下) 三石 稔  
 徒然さんば(43) ザザムシ捕り 伊那市天竜川 絵と文・吉田勝美  
 一寸一言 春日利比古

◇794 (67-3) 2023.3 A5 40p 600円

《民俗特集》

十二堂から十王堂へ—秘められた歴史を探る 瀧澤 秀人  
 辰野町小野の火の見櫓 福島 永  
 手良におけるミシヤグジ様 宮原 達明  
 築100年を迎えた駒ヶ根市郷土館 宮脇 正実  
 図説・上伊那の民俗(67) 高遠だるま市(伊那市高遠町鉾持神社) 三石 稔  
 徒然さんば(44) 曹洞宗金剛山峰山寺 伊那市高遠町東高遠 絵と文・吉田勝美

◇795 (67-4) 2023.4 A5 40p 600円

《民俗芸能特集》

本郷に遺された人形芝居のかしら 三石 稔  
 中川人形浄瑠璃の復興 人形芝居「切竹紋次人形」再興事業から10年  
 下平 達朗

「古田人形芝居」の復興と後継者の育成

—「古田人形芝居保存会」が文化財保護功労者として表彰される 矢澤 静二  
 美女ヶ森のお祭り 氣賀澤厚典  
 中尾歌舞伎 これまでのいきさつ 松田 元伸  
 美簗青島のあきや様(秋葉様)と代参 中崎 隆生  
 図説・上伊那の民俗(68) 御夜燈当番(伊那市高遠町勝間共信) 三石 稔  
 徒然さんば(45) りんご農園 飯島町田切 絵と文・吉田勝美

◆伊那民俗 柳田国男記念伊那民俗学研究所

〒395-0034飯田市追手町2-655 飯田市美術博物館内 TEL0265-22-8118

年3000円 1990年創刊 <https://inaminkenhome.blogspot.com>

◇132 2023.3 B5 8p

現在の出砂原の道／昭和33年(1958)の道(高森町下市田、酒井渉氏提  
 供) 松上 清志

柳田国男の「物忌と精進」

—櫻井弘人著『遠山霜月祭の研究』に触発されながら 久保田 宏

書評 櫻井弘人著『遠山霜月祭の研究』 小川 直之  
 報告 特別例会 折口講座 折口信夫「門松のはなし」を読む 米山 梓  
 報告 9・11月通常例会 発表要旨 12月例会 櫻井弘人会員「遠山  
 霜月祭〈和田タイプ〉に秘められた意味」、1月例会 近藤大知会  
 員「学校と民俗芸能」 今井 啓  
 報告 第1回南信州民俗芸能フェスティバル 文責・今井 啓  
 表紙写真解説 65年前の出砂原の道 松上 清志

◆伊那民俗研究 柳田国男記念伊那民俗学研究所

〒395-0034飯田市追手町2-655-7 飯田市美術博物館内 TEL0265-22-8118  
 年3000円 1990年創刊 <https://inaminkenhome.blogspot.com>

◇30 2023.3 A5 178p

2022総会記念講演 山岳信仰から修験道へ 鈴木 正崇  
 民俗雑誌『設楽』をめぐる人びと  
 一『夏目一平日記』(早川孝太郎関係抄)を中心に 伊藤 正英  
 第5回伊那民俗研究集会「民俗と食文化」特集  
 「食」の民俗を考える—南信州の食文化から 小川 直之  
 信州の郷土料理と食文化の変化 中澤 弥子  
 「かて飯」再考 宮下 英美  
 江戸時代の記録と遠山の年中行事食 北原いずみ  
 『心覚』にみる飯田の和菓子 近藤 大知  
 天龍村坂部の行事食 関 京子  
 阿智村清内路の伝統野菜—清内路かぼちゃを中心に 櫻井 道治  
 阿南町和合のこんにゃく作り  
 一盛んだった時代の思い出と先人の知恵 吉田 弓  
 報告 二〇二二年・向方の掛け踊り 復活の経緯 豊村由香理  
 伊那民俗学研究所 活動記録(2021.4~2022.3)

◆市誌研究ながの 長野市公文書館

〒380-0928長野市若里6-6-2 1994年創刊  
<http://www.city.nagano.nagano.jp/naganoarchives/>

◇30 2023.3 A4 199p 1500円

表紙絵 小泉癸巳男 第七六章「東京市役所」昭和十一年(1936)三月  
 木版・紙37×27.8cm (信州新町美術館蔵)

巻頭グラビア

真田家伝来 浦賀紀行図 甲巻

第六場面「自永神寺境内浦賀一望図」	渡辺いずみ
御祭礼お先乗り衣装・関係資料	樋口 明里
飯島正治邸設計図	宮澤 政太
小泉癸巳男生誕130年「昭和大東京百図絵」	前澤 朋美
長野市内の小池沼の淡水微生物相Ⅱ	落合 照雄
令和4年度長野市公文書館新収蔵資料より 1 明治二十七年十一月一日発兌『汽車汽船旅行案内』東京 庚申新誌社/2 市役所第一庁舎・長野市民会館の建設計画	
南宮遺跡の消長と歴史的特質	鳥羽 英継
信濃の国人と旗塚	町田ゆかり
松代藩の「拾万石御百姓訴訟」(二斗八騒動)を書きとめた「永々代記録」	西澤 安彦
善光寺平における寛保二年千曲川洪水(戌の満水)の再考	山浦 直人
長野県大地主の製糸業の振興と農業生産—中村正則説との関連で	横山 憲長
飯島正治と飯島邸について	宮澤 政太
暴れ裾花川を鎮めた人々	宮下 秀樹
長野市内の小池沼の淡水微生物相 Ⅱ—ある人工池のミジンコの生態と飯綱・戸隠高原5池沼の付着珪藻植生	落合 照雄
史料紹介 松代藩士山寺常山に関する書籍の紹介	北澤 忠雄
令和4年度 新収蔵資料目録 長野市役所文書(紙文書) 294点、長野市役所文書(電子文書) 63点/長野市公文書館一年のあゆみ(令和4年1月4日～令和4年12月28日)/統計資料 長野市公文書館利用状況・長野市公文書館所蔵資料(2022年12月末日現在)	

#### ◆信濃 信濃史学会

〒399-0036松本市村井町南1-28-35 年10200円 TEL0263-58-1213

<http://www.shinano-shigakukai.jp>

◇877 (75-2) 2023.2 A5 82p 1150円

江戸時代後期の松本藩における川除普請政策とその変遷について

—高瀬川を中心に

小野 和英

上田築城・城下町形成についての再考(一)

—「武田流」城郭としての見直しと併せて

寺島 隆史

昭和戦時期の長野県における村の農業(下)

—更級郡信田村の農業の具体像をとおして

田中 薫

木曾義清の系譜

鎌田 宣之

◇878 (75-3) 2023.3 A5 88p 1150円

民家に残された戦後の「配給台帳」

- 一長野県上伊那郡宮田村北割耕地の戦後配給の実状 伊藤 修  
上田築城・城下町形成についての再考(二)  
一「武田流」城郭としての見直しと併せて 寺島 隆史  
『信長公記』の虚と実 武田 健作  
鎌倉期における仁科氏像の再検討 花岡 康隆  
報 告

- 民俗例会「松本平の本棟造り見学会」 多田井幸視  
第七回地方史講座 上伊那地域の景観形成の取組みと課題 市川 包雄

◇879 (75-4) 2023.4 A5 80p 1150円

- 地域経済の発展と大地主の投資活動—長野県千曲川水害と関連して 横山 憲長  
松代藩・真田家歴代藩主の境目見分—その変遷を中心として 原田 和彦  
中馬荷物の梱包・荷造・荷積 野池 優太  
報告 第一〇七回セミナー「江戸時代の大名家」 山中さゆり

- 会務報告 I 長野県公文書審議会委員への書簡／II 「長野県総合5  
ヶ年計画」へのパブリックコメント 後藤 芳孝

受贈図書紹介 『群馬の高校野球—一九六九～二〇一八』黒澤克利・  
関口功一編、『古瀬傳蔵記念事業 地域と農業』古瀬傳蔵記念事業  
実行委員会著、『新倉伴右衛門の生涯 松平定信の侍女を妻にした  
名主』中原文彦著、『論点・日本史学』岩城卓二・上島亨・河西秀哉・  
塩出浩之・谷川穰・告井幸男編著、『善光寺を守る諏訪の神と御柱  
付・全国各地方の御柱一覧』小林一郎・小林玲子著、『1945・8・  
13 長野空襲の真実』荒敬・大日方悦夫・三輪泰史著、『真田家の  
鷹狩り 鷹術の宗家、根津家の血脈』二本松泰子著

◆千 曲 ふるさとに学ぶ 東信史学会

〒386-0024上田市大手2-7-13 上小教育会館内 TEL0268-24-2182  
年3000円 1974年創刊

◇178 2023.2 A5 63p

- 信濃における末端官衙(小院)—小諸市宮ノ反A遺跡の再検討 鳥羽 英継  
鎌倉時代後期における海野氏についての覚書  
一洪野氏関係未検討史料の紹介を兼ねて 花岡 康隆  
上田出身の鉄道技師長・曲尾辰二郎について 倉澤 正幸  
連載講座 古文書解読講座 第169回 市川 包雄  
地区だより(上田地区)「塩田平文化財保護協会」と地域のかかわり 西澤 恒幸  
扉写真と解説 上塩尻佐藤家住宅(三ツ引)について 谷口 弘毅

◆長野 長野郷土史研究会

〒380-0834長野市問御所町1257-1 TEL.070-4026-1252 年4000円 1964年創刊

<http://www.janis.or.jp/users/kyodoshi/>

◇322 2023.4 A5 97p 1200円

表紙 明治天皇が行幸の折に宿泊された、善光寺大勧進の行在所／口

絵 長野市内に残る明治天皇行幸の遺跡 撮影・長野郷土史研究会  
病人の継ぎ送り一柏原宿の対応 中村 敦子  
長野えびす講煙火の先駆けとなった明治天皇天覧の花火 小林 一郎  
「一身田専修寺の一光三尊仏絵伝」の絵解き 小林 玲子  
絵解き台本「一身田専修寺の一光三尊仏絵伝」 小林一郎／小林玲子  
村上義清の話あれこれ(3)一伝説・伝承編 志村 平治  
伊那史学会と長野郷土史研究会

一長野県の南と北の地域史誌のこれまでと、これからに向けて 小林竜太郎  
島木赤彦『諏訪湖畔冬的生活』 栢木 希望

長野市内に残る明治天皇行幸碑の碑文 小林一郎／小林玲子

出版 『新資料による一茶・白雄とその門流の研究』矢羽勝幸著、『山里の神仏 飯綱社広瀬神社誌』広瀬神社再建委員会著、『写真は語る一長野市公文書館資料一』『公文書が語る戦後70年』



\*小林竜太郎「伊那史学会と長野郷土史研究会一長野県の南と北の地域史誌のこれまでと、これからに向けて」は、南北に長い長野県の両端にあって、共に長く活動を続ける研究会の動向と類似性、課題を語って興味深い。

南の飯田市に拠点を置く伊那史学会は1938年の創立で、月刊『伊那』を発行し、会員は最大で5000名近くを擁した。一方、長野市の長野郷土史研究会は、1958年の創立で、隔月刊『長野』（現在は年3回刊）を発行し、会員は同じく4000名ほどもあった。これだけの大所帯を運営し、長く研究誌を維持できたのは、伊那には

原田島村(初代)、長野には小林計一郎という傑出したリーダーがいたからである。原田氏は事務方に徹したが、小林氏は地方史研究者、教育者として多くの業績を上げている。二人に共通することは、卓越した事務処理能力とリーダーシップにより、会員たちの信頼を得たことであろう。会の切り盛りと研究誌発行を、夫婦家族で献身的に担ったことも共通する。原田家は三代目になり、長野は現在二代目だが、既に子息の竜太郎氏が一翼にいる。両会に直接の交流はなかったが、研究誌の交換をし、互いを意識して切磋琢磨するところがあったという。

研究誌の発行は、経費の問題などもあり厳しくなる一方であるとのこと。「その中であって、地域誌はその内容を外に発信することが必要です。これからは、読者数ではなく、発表媒体としての存在感を重視していかなくてはなりません。たとえ会員を増やすことが難しくても、地域の若い方はじめ、全国の方に利用してもらえろという自負が、長期の発行への意欲につながると私は信じています。」との表明に共感し、感動する。

竜太郎氏はさらに、伊那史学会はホームページを持たず、『伊那』は国立国会図書館の雑誌記事索引の採録対象誌になっていないので、記事情報が他人の目に触れにくい。公の機関として改善して欲しいとの指摘もしている。まったくその通りで、以前筆者が調査したところでは、全国の地方史研究雑誌の採録対象は3割にも満たなかった。国立国会図書館には地方史研究雑誌の重要さをもっと認識して欲しいと思う。それと共に、地方史に関心を寄せる皆さんには、当『地方史情報』Web版と『地方史文献年鑑』を活用していただきたいと願って已まない。

原田家は三代目が高齢化のため、今年からそれまで印刷を請け負ってきた南信州新聞社印刷局に移ったが、これからもいい関係を続けていかれることを期待したい。

#### ◆長野県民俗の会通信

〒384-2104佐久市甲135 田澤直人方 TEL0267-88-6927 年5000円

<http://nagano-minzoku.chu.jp>

◇294 2023.3 B5 8p

『道祖神新聞』

南佐久郡小海町立小海小学校四年生

小学生の「道祖神」研究

倉石 忠彦

岡谷蚕糸博物館へようこそ!

加藤穂乃佳

#### ◆長野市公文書館便り

〒380-0801長野市箱清水1-3-8 長野市城山分室内 TEL026-232-8050

<http://www.city.nagano.nagano.jp/naganoarchives/>

◇49 2022.4 A4 2p

令和3年度移管・公開「長野市役所文書」紹介 歴史的建築物調査関  
係文書／真田丸関連文書

古文書紹介 「古文書によく出てくる言い回し」

◇50 2022.7 A4 2p

公文書館便りに見る長野市公文書館の歩み 記事の見出しを振り返る

古文書紹介 「古文書によく出てくる人名」

◇51 2022.10 A4 2p

所蔵資料紹介 安茂里小市地区の白土採掘

◇52 2023.1 A4 2p

市内中学生 職場体験学習

古文書紹介 「古文書によく出てくる人名」

## 岐 阜 県

### ◆岐阜市歴史博物館だより

岐阜市歴史博物館 〒500-8003岐阜市大宮町2-18-1 岐阜公園内 TEL058-265-0010／加藤栄三・東一記念美術館 〒500-8003岐阜市大宮町1-46 TEL058-264-6410 1985年創刊

◇113 2023.2 A4 8p

岐阜市指定文化財 亀姫像(部分)

江戸時代前期、17世紀前半 盛徳寺(岐阜市)蔵

企画展「加納藩～江戸幕府を支えた270年～」

加藤栄三・東一記念美術館「収蔵作品展」

加藤栄三・東一記念美術館「野田龍二・渡辺久子 洋画二人展」

企画展「ちょっと昔の道具たち」

館蔵資料紹介 白隠慧鶴画賛 江戸時代 18世紀 縦51.0cm 横79.0cm

### ◆郷土研究岐阜 岐阜県郷土資料研究協議会

〒500-8368岐阜市宇佐4-2-1 岐阜県図書館内 TEL058-275-5111 年2800円  
1973年創刊 <https://www.library.pref.gifu.lg.jp/library-information/related-organizations/kyoshiken/>

◇139 2023.3 B5 28p

長良川における鮎の友釣りの始

古田 憲司

古代日本の対外交流と美濃純

浜田久美子

続・牛洞雨乞踊の踊り歌～「ひねり踊の唄」とその系譜

岡田 吉孝

史料紹介 美濃国山県郡高富町天王町「山口彌重文書」資料その四

松尾 隆

- 『飛騨国大野郡史』について一郷土史文献紹介(2) 早川 万年  
 書窓の風  
 岐阜 岐阜城天守東側の発掘調査 内堀 信雄  
 可茂 願興寺修理と『願興寺諸事記』の刊行 可児 光生  
 東濃 東濃地方の少し気になる話 小嶋 泉  
 郷土関係新刊書目録(124)／郷土関係逐次刊行物文献目録(122)  
 訃報 原田政彦氏(本会副会長)

## 静岡県

- ◆赫 夜一カゲヤ 富士山かぐや姫ミュージアム博物館だより  
 〒417-0061富士市伝法66-2 TEL0545-21-3380  
<https://museum.city.fuji.shizuoka.jp/index.php>
- ◇80 2023.3 A4 4p  
 「富嶽真景一昭和の富士山写真家 清水緑一」 秋山 裕貴  
 博物館の日特別講座「東泉院の大黒さまの小判!? 小判風チャーム  
 を作ろう」活動報告 佐野あき沙  
 富士山コレクション寄贈 武田弘さん感謝状贈呈式 高林 晶子  
 展示室②富士山の玉手箱 特別展示 武田弘氏寄贈富士山コレクショ  
 ン「彩り富士山 絵付けの陶磁器」 佐野あき沙
- ◆静岡県近代史研究会会報  
 〒422-8526静岡市駿河区谷田52-1 静岡県立大学国際関係学部 森山優研究室  
 年4000円 <https://shizuokakenkindaishi.wordpress.com>
- ◇534 2023.3 A4 4p  
 3月例会レジュメⅠ  
 小松清『仏印への途』論一ベトナム観に着目して 岡野 有吾  
 3月例会レジュメⅡ 地方における自主講座運動の展開  
 一熊本大学を事例として 1976-1980 宮本 佑己
- ◇535 2023.4 A4 4p  
 4月例会レジュメ 決戦兵器㊦(マルケ)開発と浜松工専動員学徒  
 一高橋廣夫氏の日記(高橋日記と略)が示した希望の光 矢田 勝  
 金原家異聞(その2)(1) 金原醇一と明治社会主義 小池 善之

- ◆静岡県地域史研究 静岡県地域史研究会  
 〒412-0043御殿場市新橋1891-1 厚地淳司気付 年4000円 2011年創刊

- ◇247 2023.2 B5 4p  
『大河ドラマ』に思う 森田 香司  
12月例会報告要旨  
「検地文言の成立について—検地目録・検地帳・検注帳をよむ」 山田 剛徳  
1月例会報告要旨  
「蒲原宿支配陣屋の変遷—蒲原陣屋から松岡陣屋へ」 厚地 淳司

◆遠江・山と里の民俗 浜松市無形民俗文化財保護団体連絡会

TEL053-457-2466

- ◇19 2022.9 A4 4p  
令和3年度に認定された「浜松地域遺産」 椎ヶ脇神社の神輿渡御／  
浜松海岸の浜おり(浜垢離)／旧井伊郷の地の神祭祀／西大山の初午  
祭／令和3年度 浜松地域遺産  
「万人講」公演 坂田 忠臣  
はるか眼下の天竜川—瀬尻のぶか風揚げ 南 拡大朗  
山里の祝祭—神々と鬼たちの演舞についての展示記録 田中 裕二

◆ふじのくに考古通信 静岡県埋蔵文化財センター

〒421-3203静岡市清水区蒲原5300-5 TEL054-385-5506 2011年創刊

<https://www.smaibun.jp>

- ◇24 2023.1 A4 8p  
特集 「重要文化財登呂遺跡出土品」保存処理事業 大森 信宏  
普及公開事業紹介  
児童クラブや放課後デイサービスが体験授業！／生涯学習交流館で  
勾玉作りやミニはにわ作り！！／SDGsにそった火起こし体験器具  
の改良！！ 深澤 俊夫  
長野・山梨・静岡を文化財で結ぶ—山の洲文化財交流事業 富樫 孝志  
ただいま発掘調査中 発掘調査始まります。  
西浦足保林石丁場・久料仲洞石丁場（沼津市西浦） 木崎 道昭  
船津1古墳群（富士市江尾） 岩本 貴  
大門Ⅲ遺跡（袋井市高尾） 蔵本 俊明

愛 知 県

◆岩瀬文庫だより 西尾市岩瀬文庫

〒445-0847西尾市亀沢町480 TEL0563-56-2459 2004年創刊

<https://iwasebunko.jp>

◇75 2022.12 A4 4p

西尾市岩瀬文庫企画展「古城一失われた城の記録― 175/40,000」

蔵書紹介 『諸国奇石図』(巳-8) 幕末写

第17回にしお本まつり 文芸コンクール入賞作品

◇76 2023.3 A4 4p

次回予告 市制70周年・岩瀬文庫リニューアル20周年記念特別展「家

康を支えた武将・松井忠次」

資料紹介 「同窓会に寄せて」 茨木のり子 平成5(1992)年

### ◆刈谷市歴史博物館NEWS

〒448-0838刈谷市逢妻町4-25-1 TEL0566-63-6100 2019年創刊

<https://www.city.kariya.lj.jp/rekihaku/>

◇12 2023.4 A4 4p

次回展示 企画展「北斎漫画―驚異の眼・驚異の筆」

解説 試論：「葛飾北斎」とは？

永井優香子

報告

企画展「TSUNAGU―甦るモノたち」

永井優香子

企画展「深溝松平家展―一家忠・忠利・忠房と刈谷」

山下 智也

### ◆郷土研究誌かりや 刈谷市郷土文化研究会

〒448-0852刈谷市住吉町4-1 刈谷市中央図書館内 TEL0566-25-6000

1980年創刊

◇44 2023.3 A5 107p

鈴木正三と天草

長嶋 秀雄

随筆話談 狂歌興趣と懸想文売りなど四編

狂歌興趣／懸想文売り／佐文山戯書／年につれ物替

前川 芳久

池田友八郎伝(上)

加藤 修

元刈谷村の歌人 小島今樹とその歌仲間

三ツ松 悟

富士松第一尋常高等小学校誕生の実像

山田 基

中部日本興産業博覧会(1924)

川野 和夫

依佐美送信所と通信したスイス・イタリア送受信所

鈴木 哲

森銃三刈谷の会の活動一年

神谷磨利子

「多文化社会」と「多文化共生」は何が違うか？

―刈谷市の未来を考えて

David Dykes

『かりや』の発刊と会のあゆみ

鼎談 岡本建国・正木敦子・長嶋秀雄

会長就任ご挨拶 長 畠 秀雄  
市内研修会 愛知精鋼自動車部試作工場見学 矢 田 直幸  
県内研修会 大浜てらまち 家康ゆかりの地を巡る 岡 部 恒  
二〇二二年度事業報告  
表紙 中部日本興国産業博覧会 第一会場全景及広告塔絵葉書(著者蔵)

◆郷土文化 名古屋郷土文化会

〒466-0064名古屋市昭和区鶴舞1-1-155 名古屋市鶴舞中央図書館  
TEL052-741-9822 年3000円 1946年創刊

◇239 (77-2) 2023.2 A5 121p 1500円

信長公記巻首と松浦著武功夜話 尾 畑 太三  
三巻本『武功夜話』覚書 菊 池 敏雄  
豪潮律師の天台山図と頼山陽の耶麻溪図巻 湯 谷 祐三  
上藍天中伝の意識と伝記の異説 川 口 高風  
稲葉騒動と当時の地域社会(下) 猿 渡 伸司  
名古屋陸軍造兵廠千種製造所跡(千種公園)  
一千種区の昭和史ものがたり 大 島 清和  
見学研究会のレポートと名古屋温故会について 山 田 久

◆新編知立市史だより

〒472-0053知立市南新地2-3-3 知立市歴史民俗資料館内  
TEL0566-83-6789 2010年創刊 <https://www.city.chiryu.aichi.jp/hensan/>

◇12 2022.3 A4 4p

表紙 逢妻川上空から望む知立の市街地 中 川 貴皓  
部会だより 腰前遺跡の資料の再整理をおこなって 神 谷 真 佐 子  
事務局だより 資料調査の現場から 安 藤 幸 子

◆新編西尾市史だより

〒445-0847西尾市亀沢町480 西尾市岩瀬文庫内 西尾市教育委員会事務局  
文化振興課 西尾市史編さん室 TEL0563-56-8711 2015年創刊

◇9 2023.2 A4 8p

一枚の袋が語ること―江戸時代の種の種子交換  
No42 花蔵寺町尾崎家文書5-15 内 藤 路 子  
こちら古代・中世部会です。  
インターネットで『資料編2 古代・中世』の概観が加能に!! 田 島 公  
こちら近現代部会です。

菟蒔版と謄写版—近現代史料と簡易印刷  
市史編さんの現場から 資料から甦る懐かしい西尾  
主な活動記録(令和4年4月～令和5年1月現在)

岡田 洋司  
一柳 尚子

#### ◆豊田市史研究

〒471-0079豊田市陣中町1-19-1 豊田市生涯活躍部文化財課市史編さん室  
TEL0565-36-0570 2010年創刊

◇14 2023.3 A4 206p

西三河の横穴式石室導入期における九州系・渡来系石室の展開

—豊田市荒山1号墳が提起する問題	森 泰通
古代尾張・三河における舞木廃寺式塔心礎	永井 邦仁
足助祭りと山車—再発見された新町祭礼帳から	鬼頭 秀明
豊田市内の動物形土製品について	川添 和暁
手呂銅鐸祭祀の範囲	加藤 安信
中条氏と高橋莊三方	水野 智之
挙母藩主内藤政優の日常における食生活	長屋 隆幸
紙屋鈴木家八代利蔵と老農大垣津音蔵	
—紙屋鈴木家文書および板木の調査	清水 禎子
菅生遺跡の旧石器	川合 剛
磯谷孚氏採集の石器	川合 剛
挙母藩札に関する資料について	勝亦 貴之
明治五年五月額田県布達にみる額田県博覧会	山田 裕輝
占領期におけるトヨタの労働争議と政治闘争	
—一九五〇年のビラや新聞を手がかりに	関口 哲矢
「昭和の大合併」と豊田市域—愛知県公文書館所蔵「町村実態調査」	
に見る東加茂郡足助町の合併	久保 正明

#### ◆名古屋民俗 名古屋民俗研究会

〒489-0867瀬戸市大坂町416-9 伊藤良吉方 TEL0561-84-7044 1971年創刊

◇62 2023.2 B5 38p

名古屋民俗研究会代表交代のことば	伊藤 良吉
名古屋民俗研究会代表を引き継ぐにあたって	服部 誠
災厄除けの獅子舞—愛知県高浜市のえんちょこ獅子を中心として	粕谷亜矢子
熱田神宮撰社南新宮社の疫病退散の祭事について	
—近世江戸期を中心として	野村 辰美
安政5年、三河国羽田村の御犬拝借	橘 敏夫

天王祭と須成祭のコロナ禍のなかの現状について

ーコロナ禍のなかの須成祭 大野 麻子  
コロナ禍のなかの津島天王祭り 鬼頭 慈都  
増補コロナ禍における祭りの執行とその意識ー神戸山王まつりの場合  
小川 和英

◆古橋懐古館だより

〒441-2513豊田市稲武町タヒラ8 TEL0565-82-2100 2017年創刊

<https://furuhashikan.com>

◇13 2023.4 A4 8p (抄)

知られざるシルクの可能性を「まち守り」に活かす／稲武 KAIKO

学でシルクの先進事例を学ぶ

研究報告 古橋暉兎と農談会(2)

歴史余話 志奈の名前

藤井 智鶴

蔵書紹介 館蔵漢籍紹介(5) 諸子百家とその書物(2)

張 艶

◆まつり まつり同好会 (発売：岩田書院)

〒458-0006名古屋市長区細口3-161 田中青樹方 TEL052-877-3497 年5000円

1961年創刊 <http://www.wa.commufa.jp/matsuri/>

◇84 2023.3 A5 82+18p 2000円

《特集 まつり同好会60周年記念誌》

口絵 まつり同好会 六十年のアルバム

巻頭言 民俗芸能研究の六十年を振り返って

坂本 要

まつり同好会 六十年の思い出

まつり同好会と私

津田 豊彦

はじめての沖縄旅行

伊藤 良吉

「創立六十周年」を迎えた「まつり同好会」に思う

伊藤 茂樹

私の花祭人生と花祭の今

金田 新也

鷺野正昭前代表著作再録 絵馬にみる明治初期の尾張万歳師 (『名古屋

屋民俗』53号所収)／伊六万歳 (『八開村史』所収)

資料紹介 名古屋で発行された二つの郷土玩具番付

ー「大供玩具大番附」と「諸国郷土玩具大番附」

長谷川洋一

『まつり』総目次(創刊号～83号) 附まつり同好会周年関連書籍

表紙 傘寿記念色紙・万歳(故田中義廣初代表自筆)

◆まつり通信 まつり同好会

〒458-0006名古屋市区緑区細口3-161 田中青樹方 TEL052-877-3497 年5000円

1961年創刊 <http://www.wa.commufa.jp/matsuri/>

◇624 (63-2) 2023.3 A4 8p 600円

表紙写真の言葉 天津司舞 山梨県甲府市小瀬町 須藤 功

南西諸島の輪踊り(サークルダンシング)(6)一沖縄本島(3)

シヌグ・ウンジャミーのユークイ儀礼(3) 坂本 要

松本型舞台のまぼろし 内田 雄次

埼玉・川越まつり 石川 博司

会員訃報 山崎一司氏、水原渭江氏

◆れきしみち 安城市歴史博物館

〒446-0026安城市安城町城堀30 TEL0566-77-6655 1991年創刊

<https://www.ansyobunka.jp>

◇127 2023.1 A4 8p

特別展「家康と一向一揆」 文責・三島一信

大河ドラマ「どうする家康」にむけて

安城譜代調査速報一酒井左衛門尉家 文責・三島一信

安城歴史散策 風を感じて歴史を歩く(13)一桜町小学校区2 文責・片岡 晃

## 三 重 県

◆伊勢民俗 伊勢民俗学会(発売:岩田書院)

〒516-0014伊勢市楠部町87-2 FAX0596-25-4519 年3000円 1952年創刊

◇51 2023.3 A5 71p 1000円

表紙写真 志摩市磯部町飯浜の青さのり養殖の風景

(岡野翔・2021年2月20日撮影)

遊木浦の浅間さん祭り 東 成志

鳥羽・志摩・熊野地方の椎の木民俗 橋本 好史

伊勢山田傘への招待一絵とその工程 鈴木 俊宏

伊勢志摩地方における戦後の生業

一三重県志摩市伊雑浦の青さのり養殖を事例に 岡野 翔

資料紹介 近代的交通機関の萌芽期と旅日記

一伊勢・金毘羅参詣日記から 西海 賢二

◆三重県史研究 三重県環境生活部文化振興課歴史公文書班

〒514-0061津市一身田上津部田3060 三重県総合博物館3階 TEL059-253-3690  
1985年創刊

◇38 2023.3 A5 59p

伊勢国朝明郡家(評家)の再検討 長谷川昇平  
神宮警衛体制の形成過程

一神職・宇治会合・山田三方会合の動向を中心に 安部 玄将  
資料紹介 神宮文庫所蔵『太郎館旧蔵文書』の中世文書について

小林秀/服部早希

◆三重の古文化 三重郷土会

〒514-2305津市安濃町清水1008 浅生悦生方 TEL059-268-2671  
年4000円 1947年創刊

◇108 (通149) 2023.3 A5 222p

中世醍醐寺三宝院門跡と外宮御祈禱師職について

一渡会神主檜垣兵庫家旧蔵古文書に見る地方史の一齣 石井 昭郎  
菰野藩土方家墓所の調査 駒田利治/村木一弥

金山奉行大久保長安と木地屋村田家

本居宣長母の実家再考(4)(最終回) 鶴川 貞二

松浦武四郎の家出騒動と恩師平松樂斎 森川 正美

松坂城下鍛冶町の形成と運営 続 松村 勝順

伊勢商人川喜田政明の本草物産 小玉 道明

三重紡績による朝鮮人女工の雇用 富永 健太

米騒動時の三重県内米販売(中) 西川 洋

伊東富太郎の足跡(13)ーインタビュー岩野見司先生 石神 教親

志摩半島～東紀州の海辺に寄り来るもの 久志本鉄也

阿坂城跡に建つ「白米城趾碑」の碑文について

一大西源一氏の業績を踏まえて 杉本 喜一

史料復刻 「上出家」文書 三重郷土会古文書勉強会

資料紹介

帆船・機帆船の設計図面ー的矢造船所の村上多喜三による 門 暉代司

新出の本居宣長書簡六通とその背景 門 暉代司

俳人・石倉一入子に関する和歌山県側の資料 湊 章治

資料保存施設巡り 伊賀市における市史編さん事業と歴史資料の保存

笠井賢治/山本厚

新刊紹介 『織田信長』小坂宜広著

新聞記事から—2022年  
事務局日誌 令和4年  
追悼

とらさんを悼む  
下村登良男先生と「松阪」  
下村登良男氏著作目録

吉村 利男  
浅生 悦生  
小玉 道明  
門 暉代司

## 滋賀県

### ◆湖国と文化 びわ湖芸術文化財団

〒520-0806大津市打出浜15-1 TEL077-523-7146 年2520円 1977年創刊

<https://www.biwako-arts.or.jp>

◇183 (47-2) 2023.4 B5 88p 600円

《特集 近江を詠う 近江は詠う》

プロローグ

近江を詠う—万葉集から現代 写真 寿福滋・西岡伸太／文・編集室

近江の歌枕 私の近江、湖国の歌 永田 和宏

近江と歌人・俳人

比叡山の紀貫之墓を検証する 神田 龍身

近江の人・塚本邦雄 島内 景二

芭蕉と近江—花見の歌仙にみる「かるみ」への挑戦 高井 悠子

湖国発・新しい動き 青春21文字のメッセージ16回の軌跡 福井美知子

インタビュー 湖と生きる 指揮者・びわ湖ホール芸術監督

阪哲朗さん 文・佐藤千晴／写真・谷本吉有基

歴史の玉手箱(27) 幻の「日本横断運河」 岡本 和己

湖国のつなぎて—地域おこし協力隊探訪記(4)

長砂伸也さん(湖南市) 文・写真 船崎桜

ぶらり近江はっけん伝(24) 近江の戦国武将の像 岸野 洋

近江の黎明 相谷熊原遺跡から探る縄文の世界(8)

浮かび上がる「回遊+定住」の暮らし 松室 孝樹

カラーグラビア

万葉の旅人(16) 大御船泊ててさもらふ高島の三尾の勝野の渚と思

ほゆ(巻七—1191 作者不明) 文と曲・林博通／画・鈴木靖将

琵琶湖センス・オブ・ワンダー 湖と人とは織りなす歴史と今(9)

田んぼがゆりかご、湖の命つなぐ 文・金尾滋史／写真・オザキマサキ

川内倫子さん、県美で個展「すべては岡じ星の上」

文・編集室／写真・辻村耕司

祭の美 祈りのかたち(17) 五つの川に注連縄 恵みに感謝し漬け

る(ドジョウずし=栗東市大橋・三輪神社)

写真・文 川島朱実

「風流踊ユネスコ無形文化遺産登録」記念特集

近江のサンヤレ・ケンケトーその意義と伝承

植木 行宣

ユネスコ無形文化遺産登録の意義

矢田 直樹

「サンヤレ」「ケンケト」今春の奉納予定

近江の懐(24) 石山寺

観音菩薩の聖地石山寺、『源氏物語』のゆかりの寺、秋月祭と「源氏

供養」、紫式部と小野宮

加藤 賢治

石山寺門前のおかみ

石川 亮

トムさんの日野暮らし(11) 町内会制度

トム・ヴィンセント

湖国と文化・地域記者レポート 北から南から

180万年前の眠りから覚めたゾウがつなぐ夢

大塚佐緒里

地域とコラボ、映画「ガチャコン！青春編」

町田 雅子

寒仕込みの味噌

野田 太郎

馬との暮らしを創る

長澤由香里

◆彦根城博物館だより

〒522-0061彦根市金亀町1-1 TEL0749-22-6100 1988年創刊

<http://www.hikone-castle-museum.jp>

◇140 2023.3 A4 4p

テーマ展 大名の装いー井伊家伝来装束を中心に

紫綾唐草に橘紋平緒 当館蔵

展覧会情報 テーマ展 展示室1 大名の装いー井伊家伝来装束を中

心に、特別公開 展示室1 国宝・彦根屏風、テーマ展 展示室1

滋賀県指定有形文化財指定記念 彦根藩筆頭家老木俣清左衛門家

文書、テーマ展 展示室1 井伊直亮の雅楽器収集一大コレクション

形成の現場

研究余録 金亀玉鶴 彦根藩主の家老下屋敷訪問

渡辺 恒一

京 都 府

◆大山崎町歴史資料館館報

〒618-0071乙訓郡大山崎町大山崎字竜光3 TEL075-952-6288 1995年創刊

◇28 2022.3 A4 12+12p

令和2年度日誌抄録／公開展示・講演会 第28回企画展「描かれた山  
 崎合戦」、小企画展「平和のいしずえ」(第22回)、小企画展「大山  
 崎の古地図」、小企画展「天王山の信仰」  
 調査・研究報告(30) 『天王八幡諸末社有社石座記』について 福島 克彦

◆京都府立大学文学部歴史学科 フィールド調査集報

〒606-8522京都市左京区下鴨半木町1-5 TEL075-703-5491 2015年創刊

◇9 2023.3 A4 190p

第Ⅰ部 地域の歴史と文化遺産の調査(京都府内)

京丹後市須田平野古墳の調査(1) 京都府立大学文学部考古学研究室  
 古墳を地域資源化する(3)ー湯舟坂2号墳プロジェクトの2022年

京都府立大学文学部考古学研究室

丹後半島・古代山寺の巡見 菱田哲郎／溝口泰久／山内愛弓

京丹後市久美浜町太刀宮文書等調査(3) 山田 洋一

京都府北部のMALUI連携によるWEB公開事業 長谷川巴南

綾部市君尾山光明寺の総合調査 濱乃 覚生

由良神社文書調査 岸 泰子

舞鶴市木船家文書調査 井上 泰良

木船家文書と大庄屋の業務管理 長谷川巴南

福知山市芦田家文書調査 滝澤 和湖

京都市野邊地家文書調査 東 昇

久御山町大池神社文書調査 鈴木 誌織

家村(川源)家文書調査 渡邊 幸奈

岡田国神社大般若経調査 正端 千幸

第Ⅱ部 地域の歴史と文化遺産の調査(京都府外)

岐阜市鶉飼屋地区調査 岩本 悠梨

越前市三田村家・大瀧神社歴史資料調査と今後の展望 竹中友里代

東近江市勝堂古墳群の再検討(2) 藤川聖起／横白彩江／菱田哲郎

古墳の魅力発信事業に係る原稿作成業務 京都府立大学文学部考古学研究室

奈良県十津川村歴史資料調査・聖護院文書調査 渡邊 幸奈

河内長野市金剛寺一切経附経箱調査 正端 千幸

大阪府島本町水無瀬神宮文書調査 横内 裕人

多可町寺社建築調査 岸 泰子

神河町史の建造物調査 岸 泰子

熊本県天草市上田家文書調査 東 昇

沖縄県読谷村の慰霊碑調査 馬籠 翔

### 第Ⅲ部 市史・町史編纂事業

京田辺市田辺遺跡の古墳出現期木棺墓 池田野々花  
京田辺市田辺遺跡の円筒棺 小林 楓  
京田辺市興戸2号墳の再検討 諫早直人／下垣仁志／吉永健人  
京田辺市興戸2号墳出土家形埴輪の三次元写真計測とデジタル復元  
仲林篤史／溝口泰久／吉永健人  
京田辺市飯岡車塚古墳出土の石製品の3Dスキャン  
諫早直人／初村武寛／二村真司

京田辺市堀切古墳群の再検討(4)

諫早直人／藤川聖／松田篤／高橋敦／加速器分析研究所

京田辺市堀切古墳群の再検討(5)

諫早直人／守田悠／池田野々花／横白彩江／菱田哲郎／繰納民之

京田辺市堀切古墳群出土金属製品・ガラス製品の材質調査 田村 朋美  
京田辺市の建造物調査 宮田 匡  
京田辺市史の文書調査 東 昇  
京田辺市立三山木小学校との地域学習プロジェクト

文化遺産学コース3・4回生

和束町湯谷ノ原古墳の調査 京都府立大学文学部考古学研究室  
和束町大杉古墳出土埴輪の再検討 吉永 健人  
和束町の建造物調査 宮田 匡  
和束町の景観変遷調査 京都府立大学文学部地理学研究室

### 第Ⅳ部 歴史学科学学生の取組み

地域の中の東山古墳群 岡崎壮太／本田龍平／依田萌奈  
「なからぎウォーク」報告 黒住大輔／中井涼太  
表紙写真 和束町撰原の「子安地藏」(2022年12月13日 上杉和央撮影)

### ◆芸能史研究 芸能史研究会

〒602-0855京都市上京区河原町荒神口下ル上生洲町221 キトウビル303 TEL075-251-2371 年6000円 1963年創刊 <http://www.5b.biglobe.ne.jp/~geinoshi/>

◇240 2023.1 B5 42p 1800円

「当世役者／浮世芸者 風流見立競」について一寛政後期上方の諸芸能

萩田 清  
近世前期における茶湯書の読者 徳丸 貴尋  
書評 西原大輔著『室町時代の日明外交と能狂言』 樹下 文隆  
芸能史の書棚 野村伸一・竹内光浩・保立道久編『能楽の源流を東ア  
ジアに問う—多田富雄『望恨歌』から世阿弥以前へ』 中尾 薫

## 紹介

廣瀬千紗子「元禄期雛形本『野老役者』考—『としの花』への変貌」(s・k)

高知県教育委員会編集発行『高知県の民俗芸能—高知県民俗芸能緊

急調査報告書』

和田 修

御坊祭総合調査報告書

吉村 旭輝

## 例会発表要旨

日本左衛門の恋人—奴の小万をめぐって 2022年10月例会

埋忠 美沙

『武江年表』—誤り多き「基本文献」についての考える

2022年11月例会

川添 裕

彙報 訃報 内山美樹子氏

## ◆史迹と美術 史迹美術同友会

〒606-8048京都市上京区下立売通小川東入西大路町146 中西ビル内

TEL075-462-4292 年8000円 1930年創刊 <https://www.shibikai1930.com>

◇932 (93-2) 2023.2 A5 30p 918円

赤膚焼恵山銘花器をめぐって(3)

村上 泰昭

画論研究3 『画筌』の研究—現代語訳付(8)

寺本 健三

第1102回例会 美濃の国—宮 南宮大社を訪ねる

野崎小百合

梵鐘(和鐘)の製作年代

品角阿止美

第45回総会報告

田中 康夫

◇933 (93-3) 2023.3 A5 32p 918円

画論研究3 『画筌』の研究—現代語訳付(9)

寺本 健三

藤社神社石造狛犬の特質と意義—丹後半島型石造狛犬普及の道筋

山下 立

五月例会「髯崎磨崖仏の周辺」への誘い

丸山 貞

石造美術勉強会 第58回 滋賀県湖南市の石造美術と善水寺

## ◆都藝泥布 京都地名研究会通信

〒610-1126京都市西京区大原野上里男鹿町14-5 入江成治方 FAX075-331-3431

年3000円 2002年創刊 <https://kyotochimei.wixsite.com/kyotochimei>

◇80 2023.3 A4 8p

第60回地名フォーラム

研究発表1 恭仁京と奈良山を巡る境界について

発表者：中島正氏(本会理事)

中島 正

研究発表2 京都府内の小学校校歌にみられる地名

—宇治市以南にある77校の場合 発表者：岩田貢氏(本会理事)

岩田 貢

地名随想

平安京を偲ぶ町名 連載(5)	
勘解由小路町(かげゆこうじちょう)	清水 弘
「青谷」地名考—城陽市南端の旧村名(2)	岩田 貢
芭蕉の発句と地名(2)	小寺 慶昭
越前国の武生(たけふ)の語源について	大野上 勉

◆立命館大学国際平和ミュージアムだより

〒603-8577京都市北区等持院北町56-1 TEL075-465-8151 1993年創刊  
<https://www.ritsumeikan-wp-museum.jp>

◇89 (30-3) 2023.3 A4 4p

年度末のご挨拶—問いからはじまる平和創造	吾郷 眞一
国際平和ミュージアムリニューアル工事が進んでいます！	
ボランティアガイドコラム 平和博物館、その役割はなんですか	
—市民と協働する平和博物館へ	井上 力省
学生スタッフ 活動記録 リニューアルワークショップ編	佐々木 梓
遊心雑記 計り知れぬ自然の脅威	安斎 育郎

大 阪 府
-------

◆泉佐野の歴史と今を知る会会報

〒596-0845岸和田市阿間河滝1425 井田寿邦方 TEL0724-28-0204 年1200円

◇422 2023.2 B5 12p

相撲紙番付(2) 一、紙番付／二、相撲勝敗表	北山 理
「山直神社」由緒書を巡る三つの迷宮—山直郷内畑村の行方(2)	池田 雅治

◇423 2023.3 B5 12p

明治中期の山本家の商業経営(上)	井田 寿邦
市立泉佐野病院の始まり	話者・元病院長 中川治夫／聞き手・北山理
史料紹介 泉州の寺社(21) 佐野村九社関係文書	
藤田家文書6-4-11-3 奉願神位之事 享保12(1727)年11月／藤田家	
文書6-3-7 宗源宣旨 享保12(1727)年11月9日／藤田家文書6-3-8	
宗源宣旨祝詞 享保12(1727)年11月9日	

◇424 2023.4 B5 14p

立石垂顛念典が生きた時代と人々(14)	立石 元
明治中期の山本家の商業経営(下)	井田 寿邦
史料紹介 泉州の寺社(22) 佐野村九社関係文書 藤田家文書6-1-7	
春日大明神神位昇進願書 享保12(1727)年10月	

◆大阪の歴史 大阪市史編纂所

〒550-0014大阪市西区北堀江4-3-2 大阪市立中央図書館内 TEL06-6539-3333

1980年創刊 [http://www.oml.city.osaka.lg.jp/?page\\_id=871](http://www.oml.city.osaka.lg.jp/?page_id=871)

◇93 2023.2 A5 90p 700円

一七世紀における海運世界の様相と世界観

—「元和以来船方御定書並諸方聞書」の分析を中心にして 森元 純一

近鉄前史に於ける吉野観光開発戦略の展開—大鉄と大軌の鉄道競争 宇田 正

史料紹介 幕長戦争における幕領村夫役の様相

—大坂代官手代三枚義良の日記「手控」の翻刻と紹介 白杉 一葉

みおつくし 北平野町 吉川 潤

新刊図書紹介 藪田貫著『大阪遺産』 野高 宏之

表紙 國貞画「安治川ばし」（「浪花百景」 大阪市立図書館所蔵）

◇94 2023.3 A5 92p 700円

淀藩による河内国渋川郡・若江郡飛地領の支配について

—幕末期の「上淀」の分析を中心に 吉川 潤

史料紹介 「寛政十年 本商人取扱新仕法一件」 野高 宏之

服部敬氏の逝去を悼む 北崎 豊二

みおつくし 近代大阪の街路樹 井ノ元ほのか

新刊図書紹介

飯田直樹著『近代大阪の福祉構造と展開—方面委員制度と警察社会  
事業』 井ノ元ほのか

栄原永遠男著『難波古代史研究』 野高 宏之

酒井一著『日本の近世社会と大塩事件』 野高 宏之

藪田貫著『大塩平八郎の乱』 野高 宏之

高槻泰郎編著『豪商の金融史—廣岡家文書から解き明かす金融イノ  
ベーション』 野高 宏之

表紙 「澱川兩岸一覽」 暁春翁（鐘成）著 松川半山画（大阪市立図書館所蔵）

◆大阪歴史懇談会会報

〒536-0008大阪市城東区関目2-3-2 アンティークショップ一兵内 TEL06-6931-

1081 年5000円 1984年創刊 <http://osakarekikon.cocolog-nifty.com>

◇459 (40-1) 2023.1 B5 8p

巻頭言 神のおやしろのこと(79) 新年特別版 西宮神社 和久 敦也

令和4年12月例会報告(第421回) 『黒牡丹浪花浪花論記』—泉州の牛

取引をめぐる争論 大阪歴史懇談会理事 磯崎素子氏 (報告・夏原)

令和五年『新年と閉会のご挨拶』 田村 紘一

◇460 (40-2) 2023.2 B5 8p

巻頭言 神のおやしらのこと(80) 生田神社 和久 敦也

令和5年1月例会報告(第422回)『江戸時代の江戸、京都、大阪』

大阪歴史懇談会理事 進行・和久敦也氏 (報告・和久)

特集・歴史図書案内『寿永・元暦の合戦と英雄像』 渡辺達郎、『平氏が語る源平争乱』(歴史文化ライブラリー) 永井晋、『源平合戦・戦場の教訓』勝者と敗者、何が明暗を分けたのか 柘植久慶、『東国武士政権』日記「玉葉ヶ」が捉えた鎌倉幕府との展開と、悲劇の武士たち 安達忠人

#### ◆大塩研究 大塩事件研究会

〒530-0053大阪市北区末広町1-7 成正寺内 TEL06-6361-6212 1976年創刊

◇88 2023.3 A5 88p

巻頭写真 「大塩平八郎終焉の地」碑移設 記念映画会

写本『咬菜秘記』・『酩酊録』、埼玉にあり(上) 内田 満

大塩の太虚とフランス啓蒙思想にいたる自然観について 森田 康夫

森田康夫先生講演「大塩研究の回顧と最終地点からの報告

—大塩の儒教的自然観について—」を拝聴して 松本 充弘

大坂町奉行所与力身分の継承(2) 保田 恒雄

史料翻刻 大塩の乱関係資料を読む部会テキスト「浪華騒乱 全」(1)

大塩の乱関係資料を読む部会

『浪華騒乱 全』について 藪田 貫

#### ◆かいつか文化財だより テンプス 貝塚市教育委員会

〒597-8585貝塚市畠中1-17-1 TEL072-433-7126 1996年創刊

◇79 2023.3 A4 8p

表紙 和泉葛城山ブナ林の四季

和泉葛城山ブナ林は国の天然記念物指定100周年

国指定の経緯と指定後の概要、近年の取り組み 石山 泰幸

和泉葛城山ブナ林とのなが〜いおつきあい 田中 正視

近代の引札に見る貝塚市の伝統工芸「和泉櫛」/貝塚市郷土資料館展

示室特別展 貝塚市の伝統工芸 和泉櫛ヒストリー〜つげさんのル

ーツを訪ねて

重要文化財願泉寺表門脇のくぐり戸が壊された事件について

孝恩寺の仏像 天部(1) 持国天/「貝塚市文化財保存活用地域計画」

策定の進捗状況について

第126回かいつか歴史文化セミナー 講演会「木島の総社 稲荷神社  
の由緒と歴史」／古文書を読み解く～講座テキストから

◆近畿文化 近畿文化会

〒543-0001大阪市天王寺区上本町6-5-13 上本町YUFURA 7階

TEL06-6775-3686 年2200円 <https://www.kintetsu-g-hd.co.jp/culture/bunka/>

◇880 2023.3 A4 14p 300円

中世の兵庫津～平清盛から池田恒興まで 天野 忠幸  
現存最古の天守 国宝犬山城天守 麓 和善  
有楽斎好みの数寄屋 如庵と旧正伝院書院 麓 和善

◇881 2023.4 A4 12p 300円

伊勢神宮(外宮) 岡田 登  
洛西の仏像(4)―法金剛院・清涼寺・二尊院のみほとけ 関根 俊一  
商人と水郷のまち・近江八幡 大澤 研一

◆近畿民俗 近畿民俗学会

〒569-0055高槻市西冠2-5-5 伊藤廣之方 年5000円 1949年創刊

◇189 2023.3 A5 112p

福岡県下における近親婚伝承と佐與姫・佐世姫・佐夜姫・佐野姫と称  
する祖神(中) 近藤 直也

民俗文化・古武道の伝承活動における稽古道具の製作と補修について

の一考察―宝蔵院流高田派槍術の事例 前田繁則／小寺直樹／平野恭平

近世後期の絵図から見た草津温泉の今昔

―特に滝の湯と光泉寺、白根山を中心に 大森 恵子

小島勝治の郷土調査論と都市民俗学 伊藤 廣之

資料紹介 小島勝治資料 伊藤 廣之

書籍紹介

佐藤雅也著『近代民衆の生業と祀り―労働・生活・地域祭祀の民俗  
変容』 佐島 隆

楊平・嘉田由紀子著『水と生きる地域の力―琵琶湖・太湖の比較か  
ら』 伊藤 廣之

◆城だより 日本古城友の会

〒577-0044大阪市西成区玉出中2-11-28 平川大輔方 TEL06-6652-4511

<http://www.kojyo-tomonokai.com>

◇650 2023.2 B5 26p

大和 龍王山城を訪ねる(3月・第713回) 今回の見どころ

1月・第711回例会(総会)の報告

1月・第711回例会 午後の部の報告

探訪先: 中央区史跡巡り 案内講師: 藤岡秀典  
会員通信 山口県の大内氏館跡と高嶺城を訪ねて  
別冊(B4 5頁) 第705回 大和豊田城・筒井城を訪ねる

報告・藤岡秀典  
坂本 昇

担当幹事: 中西徹・藤岡秀典

◇651 2023.3 B5 22p

伊勢 鹿伏兎城を訪ねる(4月・第714回) 今回の見どころ

2月・第712回例会 訪問先: 大和豊田城・筒井城

担当幹事: 中西徹・藤岡秀典

報告・藤岡秀典  
二瓶 久美

会員通信 幻の若江城をたずねて

別冊(B4 6頁) 第713回 大和龍王山城を訪ねる

担当幹事: 岸本征剛・平川大輔

◇652 2023.4 B5 24p

美濃 玉城を訪ねる(5月・第715回) 今回の見どころ

事務局推薦図書紹介 『城郭研究家の全国ぶらり城めぐり』 中井均著

／『戦国の城と石垣』 中井均著

紹介・平川大輔

3月・第713回例会 探訪先: 大和龍王山城(南城・北城)

担当幹事: 岸本征剛・平川大輔

報告・平川大輔

会員通信 長崎県の三城城跡を訪ねて

坂本 昇

別冊(B4 6頁) 第714回 伊勢鹿伏兎城を訪ねる

担当幹事: 小川実・下岡力

◆つどい 豊中歴史同好会

〒560-0054豊中市桜の町4-6-27-208 小川滋方 月1000円

1988年創刊 <http://toyoreki.way-nifty.com>

◇412 2023.2 B5 16p

中臣鎌足墓、再論(前編)  
纏向遺跡・纏向古墳群を訪ねる

西川 寿勝  
大高 敬雄

◇413 2023.3 B5 16p

中臣鎌足墓、再論(後編)  
玉手山古墳群・松岳山古墳群を訪ねる

西川 寿勝  
久米 健児

◇414 2023.4 B5 16p

阿武山古墳の真相—乾漆棺と地下式墓

森田 克行

中臣鎌足墓、再論(補遺編)	西川 寿勝
玉手山古墳群を訪ねる(補遺)―復元修羅をめぐって	西川 寿勝
豊中市立郷土資料館見学	古高 邦子

◆**ヒストリア** 大阪歴史学会

〒657-8501神戸市灘区六甲台町1-1 神戸大学大学院人文学研究科  
古市晃研究室気付 1951年創刊 <http://www.historia-osaka.on.arena.ne.jp>

◇296 2023.2 A5 107p 900円

特集 戦国・織豊期権力論と城郭研究

特集にあたって	大阪歴史学会企画委員会
戦国期の地域秩序と城館	村井 良介
織豊期権力論からみた城郭史研究	谷 徹也
中井均氏の城郭研究について	福島 克彦
地理学的視点からの城下町再考―近江水口・長浜を事例として	山村 亜希
リプライ 戦国・織豊期権力論と城郭研究	中井 均
討論要旨	谷口 正樹

地域の歴史を守り伝える

宍粟鉄を保存する会とたたら製鉄遺跡の保存・活用について	堀 寛之
報 告	

日本学術会議の声明	大阪歴史学会
二〇二二年度「第三八回歴史学入門講座」の記録	中本 晴子
畝傍監区事務所(神武天皇畝傍山東北陵附属地の発掘調査見学報告)	

花熊 祐基

委員会報告 第3回／第4回

市 大樹

◆**枚方市史年報** 枚方市教育委員会文化財課市史資料室

〒573-1159枚方市車塚2-1-1 枚方市立中央図書館内 TEL050-7105-8154  
1996年創刊

◇25 2023.3 B5 50p

近世における堤防保全策	村田 路人
くらわんか茶碗、その名称をめぐって―一枚方宿遺跡出土資料から	小出 匡子
史料紹介 吉川家文書「身延山参詣道中日記覚帳」	吉川 邦子
事業概要 令和3年度事業	

◆**民俗文化** 近畿大学民俗学研究所

〒577-8502東大阪市小若江3-4-1 TEL06-6721-2332 1989年創刊

◇34 2022.12 A4 282p

口絵写真

フィリピン、海辺の民俗

写真・キャプション 辻 貴志

ベトナム、海辺の民俗

写真・キャプション 鈴木伸二

近畿の民俗・文化

やまと・まほろば・薨紀行

—中世の瓦大工から近世の瓦屋へ 第四部

大脇 潔

和歌山県有田川上中流域における榎の民俗

—榎の栽培・採取に関する民俗技術の継承

藤井 弘章

和歌山県高野町における棕櫚の民俗—生育限界地周辺での棕櫚栽培

藤井 弘章

越前国東郷榎山城の歴史と構造

新谷 和之

娼妓からみた近代日本の公娼制度—周旋業者・借金・梅毒

人見佐知子

史料紹介

(元龜二年)九月二十三日付松永久秀書状

天野 忠幸

近江国絵図(近畿大学中央図書館蔵) 二〇二一年度基礎ゼミ受講生・新谷和之

彦根古絵図(近畿大学中央図書館蔵) 二〇二一年度基礎ゼミ受講生・新谷和之

書評と紹介 野本寛一著『言霊の民俗誌』

辻 貴志

活動記録 民俗学研究所第三二回公開講演会(講演要旨)

「生駒山地の環境民俗」

俵 和馬

東南アジアの民俗・文化

フィリピン・パラワン島南部におけるサメにかんする民俗

辻 貴志

嘉定城通志(Gia Định thành thông chí)に記載された貝類の同定

鈴木 伸二

付録 中河内の文化資源—石切地域の鉄道・門前町・新名所と水車

(二〇二一年度の文化探索実習と文化活用・発信実習の報告)

小嶋万悠美／小畑遥／坂田愛渚／高田

晴彦／和田祐蔵／辻河典子／藤井弘章

兵庫 県

◆家系研究協議会会報

〒675-0101加古川市平岡町新在家1745-203 馬原浩一方 TEL079-424-0921

年5000円 2002年創刊 <http://kakenkyou.g2.xrea.com>

◇83 2023.2 B5 8p

「どうする家康」をどうしましょう

馬原 浩一

家系研究小ネタ特集(9) 武田信長ってご存知でしょうか

(馬原)

◆会報むろのつ 「嶋屋」友の会

〒671-1332たつの市御津町室津457 たつの市立室津海駅館内 TEL079-324-0595  
年3000円 1997年創刊

◇32 2023.3 B5 41p

表紙写真の説明 「シンコ(糝粉)細工」

柏山 泰訓

誌上ギャラリー 「らせん 2018」

水田 勢二

誌上インタビュー 日本の民俗行事

新谷 尚紀

特集 民俗行事

民俗行事としての節供

八木 透

お盆の火祭りとはうでん、ほうでんや、ほうてんとう

田村三千夫

八朔のひな祭り

柏山 泰訓

漂流地方史(6) 『高田屋嘉兵衛』(下)

三木 敏明

博物館遊歩(32) 柳田國男・松岡家記念館

柏山 泰訓

町並み探訪(31) 三池炭鉱と三池港

八木 雅夫

アポシ、そしてハリマ(2) 室津道について・前編

菅野 稔博

広告世相視 宝島社

一言居士

◆こうべ空襲だより 神戸空襲を記録する会

岡村隆弘方

◇22 2023.2 A4 8p

お知らせ 第52回神戸空襲犠牲者合同慰霊祭／第20回神戸空襲戦跡ウォーク

第51回神戸空襲犠牲者合同慰霊祭／第5回刻銘追加式／前代表中田政子さんをしのぶ会

神戸空襲を記録する会の「戦災アーカイブコレクション」の構築に向けて／兵庫図書館神戸空襲戦災記念資料室リニューアルに向けて

◆神戸史談 神戸史談会

〒653-0885神戸市長田区堀切町8-8 北井正昭方 TEL078-631-5995  
年3000円 1926年創刊

◇320 2023.1 A5 76p

表紙のしおり 福以德昭

画・小阪美道

年頭の御挨拶

加藤 隆久

「国際宗教都市としての神戸」

加藤 隆久

和岬線の歴史(2) 産業技術史・郷土史調査 藤原 英信  
 令和四年新年例会 街道からみた近世兵庫津・有馬・六甲越えの道 大国 正美  
 令和四年九月例会 呉田吉田家聆涛閣と『聆涛閣集古帖』・『聆涛閣帖』  
 ー聆涛閣旧蔵の古文書・古器物、『聆涛閣集古帖』掲載の古器物 須藤 宏  
 米寿の回顧と展望 神道文化とこれからの日本 加藤 隆久  
 復刻(兵庫史談58号 昭和5年10月発行) 神戸史蹟  
 追悼 復刻(会誌295号) わがネパキチ人生  
 ー神戸史談会創立百周年にことよせて 佐藤憲太郎  
 書籍紹介 神戸女子大学古典芸能研究センター編『伝説・物語の神戸  
 を歩く』 加藤 隆久

◆嶋屋友の会だより 「嶋屋」友の会

〒671-1332たつの市御津町室津457 たつの市立室津海駅館内 TEL079-324-0595  
 年3000円

◇75 2023.3 A4 4p

『ひょうご五国の日本遺産巡回展』開催)

室津よもやま話(41) 北前船と室津(8) 柏山 泰訓  
 カタカナ語あれこれ 柏山 泰訓  
 かえりみち 新宮宮内遺跡 新宮 義哲

◆摂播歴史研究 摂播歴史研究会

〒676-0004高砂市荒井町千鳥2-23-12 TEL079-442-0658 1986年創刊

◇90 2023.3 B5 10p

神戸経済の基礎を築いた 瀧川辨三の経営姿勢 熊谷 保孝  
 長野県に出向した島義武について 廣瀬 明正  
 新刊紹介 神戸女子大学古典芸能研究センター編『伝説・物語の神戸  
 を歩く』 廣瀬 明正

◆西宮文化協会会報

〒662-0974西宮市社家町1-17 西宮神社内 TEL0798-33-0321

<http://nishinomiya-ebisu.com/bunkyo/>

◇660 2023.3 B5 8p

四月行事 令和五年度定例総会・記念講演会 令和五年度定例総会/  
 記念講演会 「オリンピックと兵庫県ー日本最初のマラソン大会と  
 西宮ー」兵庫県立兵庫津ミュージアム名誉館長 田辺真人氏

西宮市の天然記念物 石井 弘明

西宮の橋梁—西宮歴史調査団の調査成果(3) 橋の名前(2) 早栗佐知子  
令和四年度 会報総目次

会員活動報告 『神社と水分信仰・社殿形式との関連』 中村宏／山本純子  
◇661 2023.4 B5 8p

五月行事 文化講演会

「織姫伝説から近代織物まで」西陣織の伝統工芸士 小玉紫泉氏  
染殿寄席の思い出 河内 厚郎

西宮の橋梁—西宮歴史調査団の調査成果(4) 夙川下流の橋と親柱 早栗佐知子

二月行事 文化講演会「西宮の自然の中で出会った草花や樹木の紹介」

講師：能登康夫先生 西宮自然保護協会会長 江寄健一郎  
会員活動報告 『垂加神道・永思堂神社』御遷座の御報告 中村宏／山本純子

#### ◆LINK 地域・大学・文化

神戸大学大学院人文学研究科地域連携センター年報

〒657-8501神戸市灘区六甲台町1-1 TEL078-803-5566 2009年創刊

<http://www.lit.kobe-u.ac.jp/~area-c/>

◇14 2022.12 B5 206p

巻頭言 市沢 哲

特集 地域歴史遺産をめぐる「つながり」

—大学・住民・自治体連携の20年—

特集にあたって 編集委員会(文責・井上舞)

歴史文化をめぐる地域連携協議会の成果と課題 大国 正美

地域連携センターとの二〇年—香寺歴史研究会の活動を振り返って  
大槻 守

人文学研究科地域連携センターの二〇年—現場担当者の視点から 木村 修二

第二〇回地域連携協議会へのコメント

二〇回目の協議会をふりかえて 市沢 哲

コメント 加藤 明恵

地域連携センター二〇年 佐々木和子

二〇年の取り組みと事業の持続性 松本 充弘

再確認と場としての連携協議会 室山 京子

インタビュー・シリーズ 歴史研究の隣人たち 第三回

書肆つづらや店主 原智子さん 司会・松本充弘

インタビューにあたって 市沢 哲

インタビューを終えて 松本 充弘

小特集 地域史研究団体の潮流

小特集にあたって	木村 修二
丹波市における郷土史研究の潮流—近代～現代	足立 義昭
多紀文化顕彰会の歩みを継承し、新たな活動にむけて	今井 進
旧美嚮郡から三木市誕生後の郷土史研究の流れ	進藤 輝司
淡路地方史研究会の創立とその後の歩み	武田 信一
明石における地域史研究と黒田義隆	
—『明石市史 上巻』刊行への歩み	宮本 博
フィールドレポート	
丹波市での地域連携	徳原由紀子
“三方よし”の文化財調査の試み	
—小野市文化財保存活用地域計画の作成を通して	山本 原也
逸文資料の解読方法について	南田 潤
LINKを読む 「おもしろくてためになる」歴史新書とは？	小林 准士
時評・書評・展示評	
「—まだまだ謎だらけ—ここまでわかった富松城」展を見学して	
尼崎市立歴史博物館第五回企画展	山崎 裕太
コロナ禍の中の博物館展示と活動—大阪城博物館の場合	村元 健一
活動報告	
朝来市連携事業での地域史料整理	井上 舞
新三木市史地域編の発刊と現状	木村 修二
人文科学科古文書室架蔵文書群の紹介(11)	木村 修二

◆歴史と神戸 神戸史学会

〒657-0845神戸市灘区岩屋中町3-1-4 田中印刷出版内 TEL078-871-0551  
年3000円 1962年創刊

◇356 (62-1) 2023.2 A5 48p 600円

巻頭言 (大国)

《特集 淡路の前近代史》

ひょうご史こぼれ話 尼崎の修験信仰	武田 壽夫
ちよんがれ節 明石松平侯道中斬捨て噺	澁谷 武弘
幕末期の淡路島における新農兵の召集	廣田 晋也
淡路島の古代と品部について—難読地名に遺るその痕跡	武田 信一
江戸時代淡路島のイノシシ出没事件と対策	
—津名郡古宮村奥井家文書に記された事例から	北山 學
「慶長播磨国絵図」の船坂峠への道について	中村 和男

新聞地域版を読む 神戸新聞の文化財記事(2015年2月13日～2月16日)

大国正美／有吉康德

二〇二二年度の会計報告

増田 行雄

◇357 (62-2) 2023.4 A5 53p 600円

巻頭言

(大国)

《特集 新説で迫る播磨の近世・近代史》

ひょうご史こぼれ話 二つの影向石一甲山の「岩」巡礼

森地 一夫

一ノ谷合戦を勝利へ導いたのは誰か

渋谷 武弘

播州多可郡における尼崎藩飛び地札の発行年次

一津田喜兵衛発行の銭匁札について

岸添 和義

河合隼之助研究ノート2

積極的経済政策の導入(1)「冥加銀講」の設立

藤原 龍雄

多可のニジュウソー失われる民俗行事の報告(2)

柴田 昭彦

有馬街道の一里塚と国絵図

中村 和男

神戸史学会奨励賞選考結果 最優秀賞に山内順子さん

文責・大国正美

新聞地域版を読む 神戸新聞の文化財記事(2015年2月17日～2月28日)

大国正美／有吉康德

## 奈良県

### ◆奈良県立同和問題関係史料センター研究紀要

〒630-8133奈良市大安寺1-23-1 TEL0742-64-1488 1994年創刊

◇27 2023.3 A5 117p

大和同志会中川義雄の活動をめぐって

深澤 吉隆

『在方山方書出帳』から見た近世末大和国吉野郡の一商業圏

竹中 緑

「閩人三十六姓」と久米村の研究ノート

今西 就子

中世大和の呪術に関する考察—番条籠名事件から

山村 雅史

史料紹介

享保十年(一七二五)郡今井町「町内軒役帳」

奥本 武裕

龍田神社の神事・祭礼と被差別部落との関わりについて

上野 充

講演録 人の世に熱と光を一水平社創立の思想に学ぶ

駒井 忠之

### ◆奈良学研究 奈良学学会

〒631-8501奈良市帝塚山7-1-1 帝塚山大学奈良学総合文化研究所

TEL0742-48-8842 1997年創刊

◇25 2023.3 A5 92p

興福寺三重塔初層壁画研究序説

奈良・平安時代初期の八幡神

袋中著『南北二京霊地集』が引く「天王寺略縁起」をめぐる

南都修験道 薬師寺修験咒師本部の現在

久留米年探索拾穂

例会・公開講座記録 2021年度例会(追録)、2022年度公開講座

多川 文彦

鷺森 浩幸

伊藤 純

平松 典晃

杉崎 貴英

◆日本文化史研究 日本文化史学会

〒631-8501奈良市帝塚山7-1-1 帝塚山大学奈良学総合文化研究所

TEL0742-48-8842 1977年創刊

◇54 2023.3 A5 192p

史跡・名勝・天然記念物保存運動と永井荷風

百済・日本・唐における衣冠の副葬と施捨

宮井廃寺出土塑像の像高復元と安置堂宇に関する一試案

一薬師寺金堂月光菩薩立像の三次元計測データとの比較から

滋賀県栗東市成谷の山の神行事からみる祭りの変容と継続

頭塔を撮影した永野鹿鳴荘ガラス乾板

近世末期の空也堂・空也聖に関する一資料

十八世紀中期から二〇世紀初頭の陸奥国会津郡金井沢村における稲の

作況記録 下室井家文書「作毛位付帳」(明治六年から大正五年

まで)

伊藤 純

牟田口章人

戸花亜利州

矢田 直樹

鷺森 浩幸

杉崎 貴英

川口 洋

◆LUCIFER ルシファー 水平社博物館

〒639-2244御所市柏原235-2 TEL0745-62-5588 1999年創刊

<http://www1.mahoroba.ne.jp/~suihei/>

◇25 2022.12 A5 65p

水平社創立一〇〇周年記念事業

水平社博物館リニューアルオープン記念セレモニー

水平社博物館リニューアルにあたって

水平社博物館リニューアルオープンにあたって

お寄せいただいたメッセージ

座談会 水平社博物館常設展示リニューアルについて 朝治武さ

ん・井岡康時さん・奥本武裕さん・手島一雄さん・佐々木健太郎

リニューアルした展示室の紹介

あなたの心に響いた言葉やフレーズを募集します

一水平社博物館 ことばの「美術館」

川口 正志

## 鳥 取 県

### ◆鳥取県立博物館ニュース

〒680-0011鳥取市東町2-124 TEL0857-26-8042

<https://www.pref.tottori.lg.jp/museum/>

### ◇35 2023.3 A4 8p

報告 開館50周年記念企画展「すべてみせます！収蔵庫の資料たち」

を開催して／お寄せいただいた声

川上 靖

テーマ展示 令和5年度鳥取県立博物館美術部門テーマ展示「Sense of Size センス・オブ・サイズー「大きさ」という視点からアートを  
読み解くと」

三浦 努

企画展「ノーベル賞受賞100年記念 アインシュタイン展」

茶谷 満

コラム お披露目まちか！巨大キノコ「オオミヤマトンビマイ」

清末 幸久

資料紹介 縄文時代のペンダントトップー鳥取市布勢遺跡出土の大珠

小山 浩和

新収蔵品紹介 片山楊谷《猛虎図》

一虎を得意とした楊谷 異色の三幅対

山田 修平

## 岡 山 県

### ◆岡山の自然と文化 郷土文化講座から 岡山県郷土文化財団

〒700-0822岡山市北区表町1-7-15 702号 TEL086-233-2505 1982年創刊

### ◇42 2023.3 A5 201p

ごあいさつ

石井 清裕

岡山の種痘ー岡山における幕末～明治の感染症対策

木下 浩

海と生きるー笠岡市の自然と文化

安東 康宏

備前大窯を掘るー発掘調査から見えた備前焼の過去と未来

石井 啓

第十回おかやま文化フォーラム

完結編『歴史の実像を求めて 地域と歴史資料』

趣旨説明

倉地 克直

講演1 聞く歴史と文字史料の往還ー東日本大震災後の歴史実践を  
中心として

大門 正克

講演2 吉備の古代社会を考えるー正倉院文書とシミュレーション

今津 勝紀

岡山史料ネットについて  
まとめにかえて一地域と歴史資料

今津 勝紀  
倉地 克直

◆きび野かわら版 岡山県郷土文化財団

〒700-0822岡山市北区表町1-7-15 702号 TEL086-233-2505

<http://www.o-bunka.or.jp>

◇2 2023.3 A5 8p

木堂を育んだ地 旧犬養家住宅(木堂生家) [国指定重要文化財]  
誕生の地 庭瀬地区で木堂に会う！

◆倉敷の歴史 倉敷市総務局総務部総務課

〒710-1398倉敷市真備町箭田1141-1 総務課歴史資料整備室 TEL086-698-8151

1991年創刊 <https://www.city.kurashiki.okayama.jp/1438.htm>

◇33 2023.3 A5 135p

近世後期、備前国児島郡味野村の船所持と武左衛門 落合 功

倉敷浅尾騒動主導者・立石孫一郎前史

一倉敷村の年寄役が「草莽の志士」となるまで 立石 智章

近代における岡山県酒造業の成長構造

一浅口郡の『現勢調査簿』を中心に 前田 昌義

倉敷町史編さんに向けての大森一治の足跡一大森日記の分析より 首藤ゆきえ

ノート 近世初期備中国の蔵入地と豊臣家臣団知行地 畑 和良

聞き書き倉敷の歴史 日本郷土玩具館と伝建地区をまもり育てる会

一外村吉之介先生の導きで 大賀紀美子

資料紹介 玉島町の「戦災罹災者調査書」 山下 洋

アラカルト

吉備真備の墓所について一吉備塚古墳と吉備公墳 今津 海

大橋敬之介の家族たち一御陣屋大変のその後 大島 千鶴

井上雄風の犬飼松窓顕彰・三餘塾保存活動 井上 秀二

展示会記録 令和四年度資料展示会「歴史資料にみる倉敷の自然災害

一地震・洪水・高潮・旱魃」 文責・山下 洋

報告 令和3年度歴史資料講座／令和4年度古文書解読講座／歴史資

料整備室に潜入！古文書を解読しよう／水損公文書修復処置報告書

／倉敷市文書館(アーカイブズ)研究会の活動

新刊紹介 『水島メモリーズ』／『近代岡山 殖産に挑んだ人々2』／

『三島中洲と近代・甚八一新収の小野家旧蔵資料』

コラム 災害と公文書

(在間)

## 広島県

### ◆備陽史研究 備陽史探訪の会

〒720-0824福山市多治米町5-19-8 TEL084-953-6157 1982年創刊

<http://bingo-history.net>

◇29 2023.2 A4 91p

『備陽史研究』第29集の発刊にあたって

田口 義之

特別寄稿 中世芸備地域の搬入石塔

松田 朝由

備後守護山名氏の守護所を巡って―八尾山城・神辺城と山名氏

田口 義之

南北朝期の備後南部―南北朝期の動乱を考えて

瀬良 泰三

京都田辺家文書 高野山東光院過去帳写について

田口 義之

『譜牒余録』の水野太郎作

嶋田 浩二

今津本陣「殿様御召抱提重献立」を紐解く

河本 正二

### ◆備陽史探訪 備陽史探訪の会

〒720-0824福山市多治米町5-19-8 TEL084-953-6157 <http://bingo-history.net>

◇228 2023.3 A4 20p

備後国衆列伝(15) 御調郡の池上氏

田口 義之

調査報告 中世石造物の調査報告

小林悠一のかんたん古文書講座 第10回

福山城北東防御について考えるⅡ―勝成は何を考えていたのか

瀬良 泰三

龍王石山城跡について

中世史部会

近世福山の歴史講座 44回 第九部

水野時代総集編 四代勝種の時代(1)

高木 康彦

総会報告 令和五年度総会

1枚の写真 福山市(旧松永市)と尾道市の境界の標示の紹介

岡田宏一郎

### ◆わが町三原 みはら歴史と観光の会

〒723-0051三原市宮浦6-9-32 鈴木方 年3600円 FAX0848-63-9932

◇384 2023.3 B5 12p

表紙 文化財の消防訓練 「文化財が収納された堂宇の消火訓練」沼

田町円城寺跡 2023.1.22 撮影・解説文 西村雅幸(沼田東町)

今月の各地 西宮神社の麓から

山本 公恵

春のハイキング「雙照院・金剛寺」ご案内

西村 雅幸

三原八幡宮(西宮神社)のアルバム

上田 茂

令和4年度市郷連歴史講演会記録 小早川隆景と乃美宗勝―その2(2)

本町いろは歴史講座 「西国街道2 前刷り」(2)	秋山 伸隆
付録 「わが町三原」令和4年度 目次	橋本 敬一
◇385 2023.4 B5 12p	
表紙 第1回本町お雛まつり 宗光寺・大島神社・正法寺「三社寺の 石段を飾る石の手作りお雛様」2023.2.25 撮影：鈴木健次(宮浦)	
今月の各地 ときめく春の訪れ妙法寺坂	上田 茂
令和4年度市郷連歴史講演会記録	
小早川隆景と乃美宗勝一その2(完結編)	秋山 伸隆
本町いろは歴史講座 「西国街道2 前刷り」(完結編)	橋本 敬一

## 徳 島 県

### ◆徳島県立博物館ニュース

〒770-8070徳島市八万町向寺山 徳島県文化の森総合公園 TEL088-668-3636

1990年創刊 <https://museum.bunmori.tokushima.jp>

◇130 2023.3 A4 8p

若杉山遺跡の出土石器が重要文化財に！ 企画展「朱を求めてー若杉

山辰砂採掘遺跡からみる徳島の弥生時代」

植地 岳彦

Culture Club 死滅漂着植物を探すー浜辺で芽生えをみつける楽しみ

茨木 靖

令和5年度企画展「朱を求めてー若杉山辰砂採掘遺跡からみる徳島の

弥生時代」

情報BOX おふだからかつてのパワースポットを探そう！

庄武 憲子

館蔵品紹介 イズモユキノアシタ

中尾 賢一

レファレンスQ&A

なぜ日本から恐竜化石は見つかりにくいのですか？

小布施彰太

## 愛 媛 県

### ◆四国遍路と世界の巡礼

愛媛大学四国遍路・世界の巡礼研究センター

〒790-8577松山市文京町3 TEL089-927-9312 2016年創刊

<https://henro.ll.ehime-u.ac.jp>

◇8 2023.3 A4 100p

刊行の辞

胡 光

特集 四国遍路と比較巡礼論

観音巡礼とフィールドワークからの逆照射

—四国遍路と比較巡礼研究

浅川 泰宏

写し巡礼における身体・空間・時間

近藤隆二郎

四国遍路に関する民俗文化財の継承と課題

—世界遺産・無形文化遺産登録の動向から

大本 敬久

四国遍路と食文化—讃岐製糖の新史料をめぐって

胡 光

大正6年、自転車遍路がみた札所の様相

—知多四国霊場三十一番利生院住職内藤真覚「四国順拝日記」

井上 淳

福岡県

◆九州史学 九州史学研究会

〒819-0395福岡市西区元岡744 イースト一号館 九州大学文学部日本史学研

究室内 TEL092-802-5098 1956年創刊

[https://www2.lit.kyushu-u.ac.jp/his\\_jap/kyushusigaku/](https://www2.lit.kyushu-u.ac.jp/his_jap/kyushusigaku/)

◇193 2023.2 B5 69p

旧会津藩出身者の同郷意識—大正期の会津会と在京学生を事例として

角 英里華

書 評

八木直樹著『戦国大名大友氏の権力構造』

鹿毛 敏夫

金子龍司著『昭和戦時期の娯楽と検閲』

官田 光史

山縣大樹著『帝国陸海軍の戦後史—その解体・再編と旧軍エリート』

森山 優

2022年度九州史学研究会大会シンポジウム・研究発表要旨

シンポジウム 壬辰戦争の史料論

趣旨説明

伊藤 幸司

「通貨」問題からみた壬辰戦争

荒木 和憲

「唐入り」の社会史

中野 等

朝鮮王子書状にみる壬辰戦争

川西 裕也

研究発表

十六世紀前半における対馬宗氏と大友氏の関係

松尾 大輝

戦国期における妙心寺派と南九州

顧 明源

日露和親条約締結後における川路聖謨と徳川斉昭の動向

—両者の思想的共通性を軸に

和田 真樹

地方改良運動と「改暦」

田川 理彩

太宰府亡命期における三条実美の歴史的位置に対する考察  
彙報 二〇二二年度大会・総会の報告

赤井 誠  
(文責・伊藤)

## 佐賀県

### ◆末盧国 松浦史談会

〒847-0823唐津市旭が丘6-5 TEL0955-73-3549 年2000円 1962年創刊

◇233 2023.3 B5 20p

「唐津の近世文書教室」史料紹介『名古屋松尾文書』No.167 濱口 尚美  
幕末唐津藩の政治状況と財政事情 山田 洋  
久留米有馬家臣と寺沢旧臣 寺沢 光世  
唐津・発掘・発見の話(21) 田島神社の昇格問題と瓢塚古墳について 徳富 則久  
歴史の忘れられた人—友常典膳覚書(9) 田島 龍太  
地域の情報 七山「大白木の亥の子さま」国指定答申／夕日観音のご  
開帳

## 沖縄県

### ◆宮古郷土史研究会会報

〒906-0013平良市下里1223-8 下地和宏気付 TEL0980-72-9963  
年3000円 1977年創刊 <https://kyodoshiken.ti-da.net>

◇255 2023.3 B5 8p

三月定例会レジメ 宮古の織物について 下地 和宏  
一月のまとめ 新収蔵品展を終えて 湯屋 秀捷  
二月定例会のまとめ 「宮古・八重山の英雄と遺跡」展まとめ 久貝 弥嗣  
初期琉球王朝と日本商人の動き—十一月例会「海の帝国」論に寄せて 大西 威人  
ネフスキー宮古島来島百年記念文集『子ぬ方星』二十一編の論文を概  
観する 宮川 耕次  
博物館浴でリラックスしよう—展示鑑賞と科学的データの測定 與那覇史香  
「第十三回苧麻糸展示会」「宮古上布コレクション展」を開催 當眞香苗／新田由佳  
投稿企画「私のイチ推し文化財」  
当初から資料館・博物館が話題に… 仲宗根將二  
「漲水御嶽と石垣」 寺崎 香織

◆宮古島市総合博物館紀要

〒906-0011宮古島市平良字東仲宗根添1166-287 TEL0980-73-0567

◇27 2023.3 B5 298p

- |   |           |
|---|-----------|
| 沖縄県宮古島における新生代新第三紀、第四紀の収集化石について                                | 安谷屋 昭     |
| 国際サシバサミット宮古島から見えるサシバの未来                                       | 久貝 勝盛     |
| 宮古諸島の直翅類の分布記録   | 小浜継雄／砂川博秋 |
| 琉球の献上馬と倭寇   | 長濱 幸男     |
| ネフスキー『宮古方言ノート』の内容について   | 下地 和宏     |
| 池間島にあるサンゴ礁・イラビジの命名者について                                       | 我那覇 念     |
| 宮古諸島・伊良部島佐良浜のモトムラ(本村)で歌われる神託オヨシ<br>(お寄せ) テインガナスー長崎国枝『祭祀ノート』より | 本永 清      |
| 宮古島市西原の秋の祭祀ーウカディダミグムイ   | 上原 孝三     |
| 宮古城辺保良方言の音韻について   | 島尻 澤一     |
| 資料紹介 山里景吉氏撮影映像  | 與那覇史香     |
| 宮古圏域の「著書・論考」をたずねて(補遺) 前編                                      | 仲宗根將二     |
| 宮古圏域の「著書・論考」をたずねて(補遺) 後編                                      | 仲宗根將二     |
| 宮古島市総合博物館製作紙芝居『戦争と子どもたち～学童そかい』                                | 寺崎 香織     |

寄贈図書紹介

◆福島県歴史資料館収蔵資料目録54 県内諸家寄託文書48

福島県文化センター歴史資料課編 福島県文化振興財団(〒960-8116 福島県福島市春日町5-54 TEL024-534-9193) 2023年3月 B5 72頁

昭和45年の開館以来、約24万点の歴史資料を収集・保存してきた福島県歴史資料館。昭和46年度から刊行を開始した収蔵資料目録の54冊目として、4件の文書群の目録を収録する。序(公益財団法人福島県文化振興財団理事長 鈴木淳一)／凡例／菊池田夫家文書(その二)(238点、東白川郡塙町)／白石禎彦家文書(その一)(291点、東京都豊島区)／秦太郎家文書(その二)(129点、埼玉県春日部市)／藤井二郎家文書(その二)(101点、郡山市)

◆茨城県立歴史館史料叢書26 一橋徳川家文書 家臣団関係資料

茨城県立歴史館史料学芸部編 茨城県立歴史館(〒310-0034 茨城県水戸市緑町2-1-15 TEL029-225-4425) 2023年3月 A5 376頁

茨城県立歴史館所蔵史料を紹介する史料叢書第26巻。同館所蔵の一橋徳川家文書のうち、当主関係史料を中心に収録した既刊4巻(14・17・18・23巻)に続き、家

臣関係資料4点を収録する。解題(武子裕美)／御附人御附切御貫／御附人御附切御貫／御附人御附切御貫／御附人御附切／橋府分限帳 上／橋府分限帳 下／一ツ橋御目見以上以下高席順／索引

#### ◆清瀬市史 6 資料編 現代

清瀬市編・刊 (〒204-8500 東京都清瀬市中里5-842 清瀬市企画部シティプロモーション課市史編さん室 TEL042-492-5111) 2023年3月 B5 817頁

市制施行50周年を記念して2020年3月から刊行が開始された新『清瀬市史』の最新刊。昭和元年(1926)から平成23年(2011)までの清瀬市域に関する史料469点を収録する。編集にあたって(黒川徳男)／第一章 清瀬のすがた(昭和初期の清瀬、昭和三十年代の清瀬)／第二章 昭和恐慌から戦争へ(政党政治から戦時体制へ、恐慌と戦時下の行財政、戦前戦中の産業、戦前戦中の鉄道、戦前戦中の警察・消防・生活、戦前戦中の教育、村と戦争、昭和戦前・戦中期の医療と衛生)／第三章 青年団の記録・青年学校の日誌(清瀬村青年団下宿分団の記録、清瀬青年学校の日誌)／第四章 戦後改革から町制施行へ(戦後改革と革新村政、清瀬町の誕生と町村合併問題、戦後の農業と商工業、戦後の交通、戦後の生活と社会運動、戦後教育の出発、戦後処理と引揚、戦後の病院街と衛生、戦後の警察と地域)／第五章 農地改革下の村(農地委員会、農地委員会への異議申立の諸相、町村を越えた農地の問題、新しい農地貸借関係、土地開発と農地改革、農業委員会)／第六章 高度成長と清瀬(人口急増下の市政、清瀬市の誕生、高度経済成長下の農業と商工業、交通の発達、高度成長期の教育、医療制度の改革と健康問題)／第七章 安定成長からバブル経済へ(都市化の中の市政、バブル経済下の行政とふるさとの創生、二つの納経の来歴、変わる交通、武蔵野の自然を守る、教育と地域、衛生的な環境づくり)／第八章 平成不況下の清瀬(市民参加型のまちづくり、平成不況下の財政、変わる都市農業、交通の課題、市民生活の課題、少子化と教育、高齢化社会と健康づくり)／第九章 文化財の保存(文化への意識と文化財指定、博物館の建設と市民、新たな祭りの創出)／第十章 現在につながる諸課題(終らぬ戦後、自動車交通の発達と問題、大規模災害への対応、人口増加と生活空間の変化、商工業の発達と課題)

#### ◆地域資料とデジタルアーカイブーたましん地域文化財団歴史資料室を例に

多摩デポブックレット16

保坂一房著 共同保存図書館・多摩(理事長:座間直壯) 発売:けやき出版(〒190-0023 東京都立川市柴崎町3-9-2 コトリンク3F TEL042-525-9909) 2023年3月 A5 53頁 1000円+税

特定非営利活動法人 共同保存図書館・多摩の2022年度通常総会記念講演(2022年8月1日～9月30日 YouTube 配信)の内容をもとにまとめた講演記録。はじめに／地域資料の収集と整理(図書、雑誌、地図、絵葉書、チラシ・リーフレット、

ポスター、写真、包装紙、マッチラベル、新聞記事)／『多摩のあゆみ』のデジタルアーカイブ／所蔵資料のデジタルアーカイブ／まとめにかえて

◆岐阜縣史談 全

岐阜縣教育會編 岐阜縣郷土資料研究協議會 (〒500-8368 岐阜縣岐阜市宇佐4-2-1 岐阜縣図書館内 (担当：加藤・大塚) TEL058-275-5111 FAX058-275-5115) 2022年10月 A5 66頁(30丁)

明治28年(1895)4月に発行された『岐阜縣史談』(岐阜縣教育會蔵版)の復刻版。高等小学校1学年前半期における歴史科の教授のために、岐阜県内の歴史上の事項を挿図とともにまとめた岐阜県史。美濃ノ部 第一 地理上ノ事項(國郡ノ沿革、南宮神社、久々利村、古ノ國府、野上ノ里、不破關、木曾街道、養老瀑、長瀧神社及び長瀧寺、國分寺、谷汲山、青野ヶ原、頼政ノ墓、墨俣ノ戰、稻葉山、大炊ノ古戰場、岩村城、虎溪、根尾谷、大垣城、八幡町、關ヶ原、木曾川ノ堤防)、第二 人物(土岐氏、齋藤氏、織田氏、大小名、知事、土岐頼兼、多治見國長、後藤祐乘、稻葉一鐵、竹中半兵衛、森蘭丸、春日局、永田佐吉、佐藤一齋、坪井信道、梁川星巖、小原鐵心)、第三 生業(紙、鷄飼、陶器、岐阜提灯、織物、油)／飛驒ノ部 第一 地理上ノ事項(國郡の沿革、水無神社、古ノ國府、國分寺、高山間地及び城山)、第二 人物(飛驒ノ工匠、江馬氏、姉小路氏、武川久兵衛、赤田臥牛、田中大秀)、第三 生業(鑛山、春慶塗、蠶業)

◆南木芳太郎日記 五一大阪郷土研究の先覚者 大阪市史史料92

大阪市史編纂所編 大阪市史料調査會 (〒550-0014 大阪市西区北堀江4-3-2 大阪市立中央図書館内 TEL06-6539-3333) 2022年11月 A5 95頁 1800円

昭和6年(1931)に雑誌『郷土研究 上方』(昭和19年4月まで151号)を創刊し、「上方郷土研究会」を発足させた南木芳太郎(1882~1945)の日記『南木芳太郎日記』(全15冊、大阪市史編纂所蔵)より、昭和16年・19年分を翻刻する。南木芳太郎日記 昭和十六年(1月、2月、3月、4月、5月、6月、7月、8月、10月、11月)／南木芳太郎日記 昭和十九年(1月、2月、3月、4月、5月、6月、7月、8月、11月)／刊行によせて 南木芳太郎から肥田皓三へのバトン―不世出の町人学者の系譜(古川武志)

◆御用録 中 大阪市史史料93

大阪市史編纂所編 大阪市史料調査會 (同上) 2023年3月 A5 141頁 1800円  
大阪市史編纂所蔵の『御用録』(全五冊)のうち、88輯(2019年10月)に続き三・四冊目を収録する。『御用録』は、大坂東町奉行所組与力六代目八田五郎左衛門が記録を始め、七代目の伴右衛門が書き継いだと想定され、明和元年(1764)7月から天明3年(1783)3月にかけての約20年間の組触814件を、ほぼ編年順にまとめている。解題(野高宏之)／凡例／『御用録』三(162件 明和8年8月~安永4年7月)／『御用録』四(156件 安永4年8月~同8年7月)

◆『中外電報』奈良県関係記事Ⅱ 奈良県同和問題関係史料21

奈良県立同和問題関係史料センター編・刊（〒630-8133 奈良県奈良市大安寺1-23-1 TEL0742-64-1488）2023年3月 A5 196頁

『京都新聞』の前身である『日出新聞』（明治18年（1885）4月10日創刊、同30年7月1日『京都日出新聞』改題）の奈良県関係記事をまとめた『『日出新聞』奈良県関係記事』Ⅰ～Ⅳ（奈良県同和問題関係史料16～19、2015年3月～2019年3月）に続き、同じ前身紙の『中外電報』（明治17年10月10日『京都滋賀新報』から改題、同25年9月30日廃刊）を翻刻。Ⅰ（2022年3月）に引き続き、明治21年（1888）6月から同年12月までの奈良県に関する記事を翻刻・収録する。明治21年6月／明治21年7月／明治21年8月／明治21年9月／明治21年10月／明治21年11月／明治21年12月／解説

◆後記

本年2月28日の『朝日新聞』と3月7日の『東京新聞』で、区制90周年を記念して2017年から編さんを進めている『世田谷区史』で、執筆予定の研究者に区から著作権譲渡の要求があり、一人が拒否していると報じられた。著作権には譲渡が認められる財産権と、認められない著作者人格権があるが、人格権については不行使が求められたとのこと。その後、これに応じなかった研究者は執筆から外された。2020年に区史を発行した港区でも同様の問題が発生したが、執筆者からの反発で断念し、転載や引用のみを許可なく区が判断できることで合意したという。世田谷区は、「区史発行後のデジタル公開や他事業への活用を想定しており、勝手に改訂するようなことは考えていない」と説明している。財産権に関して市川市では、二次的利用許諾の対価として原稿料をもってこれに充てた。気になるのは人格権である。著作者の精神や名誉を守るもので、公表権、氏名表示権、同一性保持権からなる。一身専属性で譲渡できないばかりか、仮に財産権が第三者に移ったとしても人格権は原著者のもとに残り、死後も保持される。だから区は譲渡ではなく自発的な不行使という形で逃げようとしている。同一性保持権は「勝手に改訂」させないための既定である。勝手に改訂しないというのなら、不行使を求める必要はない。都合の悪い記述は書き換えて、歴史を改竄しようと考えているわけではないだろうが、そのように疑われかねない行為はすべきではない。自治体史は住民のためのものである。（飯澤）

地方史情報 161 2023年（令和5年）5月1日 発行

編集・制作 : 白鳥舎 hakucho@eris.ais.ne.jp

ウェブサイト公開 : 岩田書院 <http://www.iwata-shoin.co.jp>

〒157-0062 東京都世田谷区南烏山4-25-6-103 TEL03-3326-3757

\*本誌は、140号より、PDF版のみの発行です。